

日本キャリア・カウンセリング学会
第29回大会プログラム

支援者としての成長を考える
— 社会的要請に応えるには —

 **JACC** November 2024
Japanese Association of Career Counseling 29th Conferences

2024/11/23^土24^日

山梨大学 甲府キャンパス



一般社団法人 日本キャリア・カウンセリング学会
Japanese Association of Career Counseling

一般社団法人日本キャリア・カウンセリング学会
第29回大会

2024年11月23日(土)・24日(日)

支援者としての成長を考える

社会的要請に応えるには

会場：山梨大学 甲府キャンパス

ハイブリッド開催＋アーカイブ公開

大会特設サイト：<https://jacc-conf.info/29th/>



大会参加申込要領（チケット予約）

1. チケット販売期間

2024年7月1日（月）～ 2024年11月21日（木）

※ 9月30日(月)23:59までは早期割引期間となります。

※ 大会当日にチケットを購入して参加することはできません。チケット販売期間中にご購入ください。

2. 申込方法

原則チケットは予約制です。大会申込サイト Confit より、事前にチケットをお買い求めください。

Confit からログイン／登録 <https://jacc.confite.atlas.jp/login>

3. 参加費用

参加費用には大会当日の会場および Zoom での参加費用と大会終了後の、アーカイブ視聴費用を含みます。本大会の大会プログラム・論文集は、PDF 形式でのダウンロード配布とさせていただきます。製本された冊子の郵送・配布は致しませんので、予めご了承ください。

区分	早割(～9/30)	参加費用(10/1～)
当学会正会員	7,000 円	9,000 円
当学会賛助会員	8,000 円	10,000 円
非会員	9,000 円	11,000 円
学生	3,000 円	4,000 円

●9月30日までは早割期間となります。

●学生・大学院生の方は会員・非会員・賛助会員を問わず「学生」区分をお選びいただけます。（社会人学生・社会人院生の方も含みます）

●以下の本学会賛助会員（法人会員）に所属する社員・会員の方は「賛助会員」区分でのお申し込みが可能です。

一般財団法人 ACCN（ACCN 会員を含む）、株式会社金子書房、公益財団法人関西カウンセリングセンター、特定非営利活動法人キャリアコンサルティング協議会、中央職業能力開発協会、特定非営利活動法人日本キャリア開発協会（CDA 会員を含む）、株式会社日本マンパワー、一般社団法人ライフデザインカウンセリング研究所
（団体・企業名称 50 音順）

4. その他

●インターネット環境に関する不具合は、主催者側・講師側では対応致しかねます。各自インターネット環境の調整をお願いいたします。

●大会倫理：動画の録画・撮影・転載を禁じます。また、大会で紹介される事例につきましては、内容に関する守秘の厳守をお願いします。

目 次

第 29 回大会の開催にあたって	1
会場アクセス（現地会場について）	3
大会参加者へのご案内（Zoom について）	4
第 29 回大会プログラム	5
基調講演	6
大会シンポジウム	7
特別プログラム	13
研修会	14
各賞表彰式	18
昨年度学会賞受賞講演	19
相談サロン	20
委員会企画	24
研究発表・実践報告・学位研究発表	34
自主シンポジウム	38
大会後援団体機関ご芳名	44
大会協賛団体ご芳名	45
大会寄付協賛団体ご芳名	46

第 29 回大会の開催にあたって

「記憶に残る大会を！」

第 29 回大会委員長 山本和美
(山梨大学)

2024 年度の日本キャリア・カウンセリング学会第 29 回大会は、11 月 23 日（土）・24 日（日）に、山梨県甲府市にあります山梨大学で開催の運びとなりました。

今大会のテーマは、「支援者としての成長を考える～社会的要請に応えるには～」です。AI の進展、超高齢化社会など、私たちを取り巻く環境が日々ダイナミックに変化しているなかでは、働き方や望むキャリアも、「多様化・複雑化」という言葉ではもはや表現しきれなくなってきました。「将来の予測が困難」な現在、ライフキャリア支援においては、キャリア、カウンセリング、メンタルヘルス、福祉などに関わる支援者の役割は、これまで以上に大きくなってきています。そうした世の中だからこそ、大会を通じて、支援者としての役割や成長を考え、共有し、持ち帰っていただきたいと思っています。

今大会では、傾聴の基本や心理的支援などの実践的な研修会のほか、リスキリングや両立支援といった「個と組織との相互作用」を検討するプログラムも企画しています。学会員以外の方や企業の皆さまも興味関心を持てるようなプログラムを用意するとともに、多くの方が参加しやすいように、参加費も昨年度より低く設定をしました。実践力を鍛えるために、昨年度大好評であった現地開催のみのプログラムのほか、遠方の方にはオンラインでご参加いただけるよう、ハイブリッド開催としました。なお、大会終了後は見逃したプログラムもご覧いただけるよう、オンデマンド配信を行う予定です。

また、地方大会ならではの、「非日常の中で学ぶ」といったリトリートもぜひご体験いただきたいです。山梨大学のある山梨県は、なんといっても富士山や、ぶどう・桃の生産量が日本一の県として知られています。大学から公共交通機関を使用して 30 分圏内のところに、温泉、ワイナリー、甲州牛の楽しめるレストランや人気の観光スポットもあります。新宿から特急で約 1 時間半と日帰りも可能な立地ですので、ぜひ、足を運んでいただき、リトリートを満喫いただけますと幸いです。

山梨大学の学章は、「たわわに実った葡萄の房が輝く太陽の光に照らされているところを立体的にデザインしたもの」です。葡萄は古くから生命や豊穡のシンボルです。デザインされた繋がった円は、「学問の融合」と、山梨大学の学びが地域・世界に向けて発信されて、再び山梨大学に戻ってくるという「循環的な相互関係」を表現しています。今大会も同様に、大会での学びを山梨から発信し、再び皆さま方に戻ってくるという循環的な相互関係を目指していきます。多くの皆様のご参加を大会委員一同、心よりお待ちしております。

第 29 回大会委員長 小倉浩靖
(一般社団法人日本キャリア・カウンセリング学会理事
研修委員長
PLAYWORK LAB, Inc.)

この度、山本和美委員長と共に大会委員長を拝命いたしました、日本キャリア・カウンセリング学会理事の小倉浩靖でございます。平素より、皆様のご支援とご協力に心より感謝申し上げます。

科学技術の急速な進化。その裏側で粛々と進行する環境問題や社会的問題。世界は今まで経験したことのないスピードで変化し、求められる支援の形も多様化しています。このような状況において、私たちは、どのように学び、考え、そして成長し続けることができるのでしょうか（成長とは単なるスキルの向上ではなく、支援者としての心の成長も含まれます）。それぞれの個性や特徴、専門性を尊重しつつ、環境や社会のニーズに対応できる柔軟性と創造性が求められていると思います。そして環境や社会のニーズを意識することで、私たちの活動の場も広がり、より多くの方々の役に立つ支援に繋がることと信じています。

今回の大会は、山梨大学を会場とし、地方開催の利便性を高めるためにオンラインでの参加も可能なハイブリッド形式で実施いたします。これにより、遠方の方々や多忙な日々を過ごす皆様にもご参加いただける環境を整えました。

山梨県は、美しい自然と豊かな文化が融合する魅力的な地域です。澄んだ空気と美しい冬景色、キャンパスからの眺めは一見の価値があります。近くには歴史的名所の武田神社や甲府城跡があり、静かな散策も楽しめますので、ぜひ足を運んでいただき、対面でのご参加もお待ちしております。

本大会が皆様にとって有意義な学びと交流の場となり、支援者としての成長に繋がることを心より願っております。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

どうぞよろしく願い申し上げます。

大会委員長 : 山本 和美 (山梨大学)
大会委員長 : 小倉 浩靖 (PLAYWORK LAB, Inc.)
大会副委員長 : 吉川 雅也 (関西外国語大学)
大会事務局長 : 藤田 るり子 (株式会社富士通ラーニングメディア)
大会技術担当 : 大野 亮一郎 (清泉女子大学)
大会会場担当 : 原 哲也 (原哲也事務所)
大会パートナー : 竹中 裕晃 (TAKE3)
大会実行委員 (50 音順) : 安藤 沙織 (新宿しろくまカウンセリング) / 磯貝 和子 (株式会社 SEMILLA) / 坂井 真奈美 (プルデンシャル生命保険株式会社) / 長久保 逸郎 (NPO 法人ソサエティ・オブ・キャリアコンサルタント) / 中野 愛子 (&Aco.) / 中村 准子 (筑波大学働く人への心理支援開発研究センター) / 馬場 洋介 (帝京平成大学) / 原 恵子 (埼玉学園大学) / 坂東 功規 (人生旅行研究所 (個人事業主)) / 松村 賢子 (山梨大学) / 村木 理乃 (共立女子大学・共立女子短期大学)

会場アクセス（現地会場について）

国立大学法人 山梨大学 甲府キャンパス

〒400-8510 山梨県甲府市武田 4-4-37

※箱根駅伝で有名な山梨学院大学・近隣の山梨県立大学とお間違いないようご注意ください。

●徒歩

JR 甲府駅北口より武田通りを北上（所要時間約 15 分）

●バス

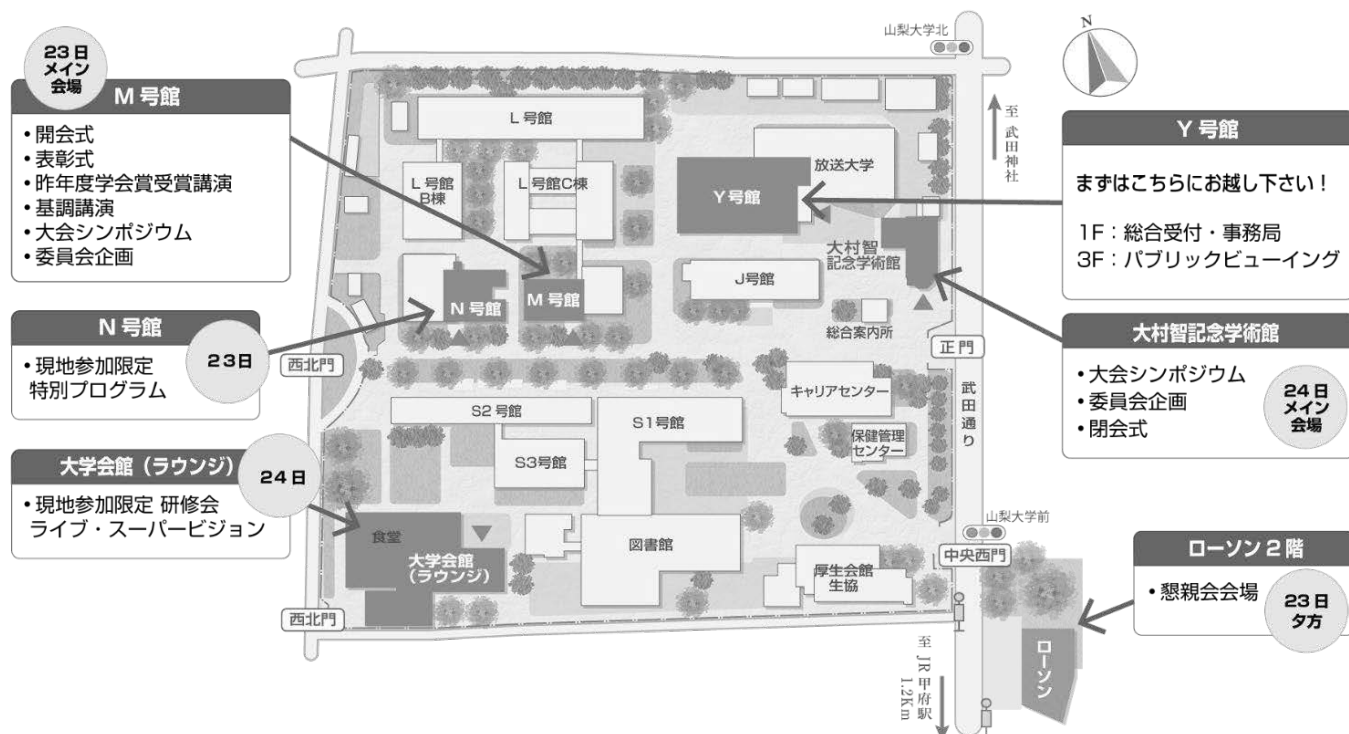
JR 甲府駅北口バスターミナル 2 番乗り場「武田神社」または「積翠寺」行きバス停、「山梨大学」下車（所要時間約 5 分）

※バスの運行が 30 分程度間隔、土日運休のため本数が限られております。

運行については以下バス会社の時刻表をご確認下さい。

- 山梨交通バス時刻表 (<https://ykbus.jp/wp/wp-content/themes/yamako/pdf/timetable/100022-2.pdf>)
- 山梨大学アクセスマップ (<https://www.yamanashi.ac.jp/access-map>)

●キャンパス MAP



第 29 回大会は、山梨大学甲府キャンパスおよび Web 配信を併用したハイブリッド+アーカイブ配信での開催となります。

- お荷物、貴重品は各自ご自身の責任で管理をお願いします。
- 大会の参加者による撮影、録音、録画は認められません。なお、記録のために、大会実行委員が撮影・録音・録画を行うことをあらかじめご了承ください。写真や動画を公開する場合は、参加者の顔が写らない等、個人情報保護に最大限配慮いたします。
- ゴミは全てお持ち帰りください。
- 館内敷地内を含め全面禁煙です。近隣住民からのクレームとなりますので路上喫煙は絶対にしないでください。
- 開催期間中、同会場を他学会も使用のため駐車台数に限りがあります。可能な限り学外の駐車場または公共の交通機関をご利用いただきますようご協力をお願いいたします。

大会参加者へのご案内 (Zoom について)

第 29 回大会は、以下の 3 つの形式で開催されます。

ハイブリッド

現地（山梨大学）のプログラムを Zoom で配信します。

オンライン

Zoom でのみ配信し、現地での参加はありません。

現地のみ

現地で開催され、Zoom での配信はありません。

【オンラインでの視聴方法】

オンライン形式のプログラムを視聴する際には、Zoom を使用します。

- 参加リンク：参加者専用サイトのプログラム一覧に、Zoom の参加用リンクが掲載されます。
(現地のみのプログラムは除きます)
- 参加リンクの公開時期：大会開催の約 3 日前を予定しています。それまではお待ちください。

【Zoom の準備について】

Zoom を利用したことがない方は、以下の手順で PC やスマートフォンにアプリをインストールしてください。

アプリのインストール方法

PC の場合

Zoom ダウンロードセンター (<https://zoom.us/download>) から、指示に従って「Zoom Workplace」をダウンロードし、インストールしてください。

スマートフォン・タブレットの場合

- iPhone: 「App Store」で「Zoom」を検索し、インストールしてください。
- Android: 「Google Play ストア」で「Zoom」を検索し、インストールしてください。

※アプリは無料です。

【Zoom 使用時の注意点】

イヤホンの利用

周囲に人がいる環境で Zoom を使用する場合は、マイク付きイヤホンを使用してください。音声の聞き取りやすさが向上し、ハウリングを予防するなど周囲への配慮にもつながります。

動作テスト

初めて Zoom を利用する場合は、事前に動作確認を行ってください。以下の Web ページからテスト環境を利用して動作を確認することができます。

- テストミーティングルーム: <https://zoom.us/test>
- このテストでは、マイクやカメラ、背景設定等の確認ができます。

安定したインターネット環境

快適に利用するために、安定したインターネット接続を確保してください。

- 現地参加者: 受付で Wi-Fi のゲストアカウントを配布しています。
- eduroam 利用者: eduroam のアカウントをお持ちの方は、そのまま大学の Wi-Fi に接続することができます。

第29回大会 プログラム

大会初日：11月23日(土)							
ハイブリッド			オンライン パブリック・ビューイング			現地のみ (配信無し)	
M号館 12	Y号館 15	Y号館 31	Y号館 32	Y号館 33	Y14/N12/ロソン		
9:15 受付開始							
9:45	開会式					9:45	
10:00	表彰式					10:00	
10:30	受賞講演					10:30	
10:50 休憩(10分)							
11:00	基調講演 意味づけと自己変革の キャリア支援					11:00	
12:30 休憩(45分)							
13:15	企業領域連携強化 委員会企画 組織における「マイノリティ 支援」とキャリアコンサルタ ント	研修会 W2 キャリアのための 脳心理学:展望の脳と Well Formed Goals —第2の命を守るために	研修会 W1 ほんものの傾聴を学ぶ ※アーカイブ公開なし	自主シンポジウム S01 教員の離職者をゼロにした 支援者と現場のリスクリン グ～共に深める自己理解・ 他者理解～	研究発表 R01	研究相談サロン ※Y号館14にて	13:15
14:45 休憩(15分)							
15:00	政策提言委員会企画 キャリアコンサルタントの質 的向上～向上のためのサイ クルとは	研究発表 R03	研修会 W3 治療関係を考える: カウンセリングにおける 治療的体験の追究	自主シンポジウム S02 キャリアの民俗学 “名もな き社会の要たち” Part2: PAC分析に基づく「展望」 の検討	研究発表 R02		15:00
16:30 休憩(15分)							
16:45	大会シンポジウム1 キャリアとメンタルの統合的 支援の可能性—多様な人 材の活躍に向けた山梨モデル 創造の検討—	自主シンポジウム S04 誰かを支援する人を支援す ることの探究～「教育」 「EAP」「福祉」「企業」の 各現場より～	企業領域連携強化委員会 企画 『楠木新ゼミ(ミドルシニア 世代向けキャリア形成ゼミ) 』を振り返る	自主シンポジウム S03 SEのうつ病予防のための 認知行動カウンセリング	研究発表 R04	特別プログラム ※N号館12にて	16:45
18:15 休憩(15分)							
18:30	オンライン懇親会 (地域活性化委員会企画) ※現地参加はできません				懇親会 ※ロソン2階にて	18:30	
19:30 20:00							

大会2日目：11月24日(日)							
ハイブリッド			オンライン パブリック・ビューイング			現地のみ (配信無し)	
大村智記念学術館	Y号館 15	Y号館 31	Y号館 32	Y号館 33	LOUNGE		
9:30 受付開始							
10:00	国際交流委員会企画 クロストーク2 いま改めて 問うキャリア・カウンセリング ～ナラティブとソーシャル ジャスティス～		研究発表 R05	自主シンポジウム S05 企業内キャリアコンサルティ ングを効果的に導入・実施 するために	研究発表 R06	ライブスーパービジョン1 スーパービジョンの魅力と 効果II—ライブ方式による スーパービジョンとSVメンタ リングの実際	10:00
11:30 休憩(60分)							
12:30	大会シンポジウム2 個と組織をつなぐリスクリン グとは～支援者に求められる もの 行政、教育、企業の 現場から～	研修会 W4 ナラティブ・スーパービジ ョン(RC) 認証し可能性を 探究しながら実践を振り返 る、協働的会話	研究発表 R07	自主シンポジウム S06 障害のある人々へのキャ リア形成支援—求められる 専門性とは—	研究発表 R08	ライブスーパービジョン相談サロ ン	12:30
14:00 休憩(15分)							
14:15	企業領域連携強化委員会 企画 SCD(セルフ・キャリアアドッ ク)導入の壁とその乗り越え 方	研修会 W5 ワーキング心理学が探求す る、21世紀の「働くこと」と は～ブルスティン博士が対 話会にて、私たちに語ったこ と～	研究発表 R09		研究発表 R10	ライブスーパービジョン2 ナラティブ・スーパービジ ョン(RC)	14:15
15:45 休憩(15分)							
16:00	大会シンポジウム3 がん治療と仕事の両立支 援—キャリアの視点で「生 きる」を支える—	研修会 W6 解決志向ブリーフセラピー 入門					16:00
17:30 休憩(15分)							
17:45 閉会式							
18:00							

●11月23日(土) 11:00~12:30

現地対面 Zoom配信 アーカイブ公開

意味づけと自己変革のキャリア支援

講師 宮城 まり子 本学会名誉会長、キャリア心理学研究所代表、臨床心理士

【概要】

キャリア形成過程では何をどのように「意味づけ」るかにより、気分・感情、態度や行動は大きく影響を受け変化します。「事実や出来事」を変えることはできませんが「意味づけ」をクライアントと一緒に吟味し変容することは可能です。キャリア支援においてクライアントは「何をどのように意味づけているか」を理解し、いかに効果的な支援が行えるかはキャリアカウンセラーの大切な役割です。「意味づけと自己変革」のためのキャリア支援について、いろいろな事例をまじえて一緒に考えましょう。

【講師】



宮城 まり子 (みやぎ・まりこ)

本学会名誉会長、キャリア心理学研究所代表、臨床心理士

早稲田大学大学院文学研究科心理学専攻修士課程修了、立正大学心理学部臨床心理学科教授、法政大学キャリアデザイン学部教授、法政大学大学院キャリアデザイン学研究科教授を経て現在に至る。専門は、産業臨床心理学、キャリア心理学、キャリアカウンセリング。キャリアとメンタルの統合的支援、キャリアカウンセラーの養成、キャリアカウンセリングのスーパービジョン、企業におけるキャリア開発支援などに長く携わっている。

●11月23日(土) 16:45~18:15 現地対面 Zoom配信 アーカイブ公開

キャリアとメンタルの統合的支援の可能性 -多様な人材の活躍に向けた山梨モデル創造の検討-

(敬称略、順不同)

シンポジスト	長谷川 和信	特定非営利活動法人山梨県キャリアコンサルティング協会 理事
	宮川 仁	山梨英和大学 進路部 次長
	沼尾 秀公	東京エレクトロン テクノロジーソリューションズ株式会社 人事部 統括部長
指定討論者	杉山 崇	神奈川大学人間科学部 教授
企画・司会	山本 和美	山梨大学 教育統括機構 特任教授

【企画主旨】

メンタル不調者が増えるなかで、人々が生き生きと自分らしい仕事を中心とした人生を歩むうえで、キャリアとメンタルの統合的なアプローチのグランドデザインを描き、浸透させていく必要がある。一方で、地方では、魅力ある企業が存在するものの、地域雇用や定着においては、若者が将来まで見据えたキャリア形成が難しいことや、本来キャリア形成支援の中心を担うべきキャリアコンサルタントの活躍の場が都心に比べ少ないことが課題となっている。本シンポジウムでは、支援する過程での「つながり」をキーワードに、多様化・複雑化している働く人への支援モデルを、資源の少ない地方ならではの視点から検討する。学生を送り出す側の課題や工夫のほか、障害のある方への企業のサポート事例の紹介も行いながら、企業、教育機関、地域が緩やかに連携をとっていく必要性や、そのつながりを企業人事やキャリアコンサルタントがどう担っていくべきかを議論する。

【シンポジスト】

長谷川 和信 (はげがわ・かずのぶ)

<プロフィール>

特定非営利活動法人山梨県キャリアコンサルティング協会 理事

1993年にIT専門学校を卒業後、大手電機メーカーの関連企業に入社。システム設計や新商品開発チームで企画業務を経験。その後、地元山梨に戻り、営業、販売、製造など様々な業界を経験しITベンチャー企業に入社。WEBシステムの開発や企業向け人材研修講師を務めた。また、教育・研修事業、キャリアコンサルティング事業、企業WEBコンサルティング事業など様々な事業を立ち上げた経験を持つ。2004年に特定非営利活動法人山梨県キャリアコンサルティング協会の立ち上げに携わり、現在は協会理事、地域若者サポートステーション事業の総括コーディネーターを務め、若年未就業者の就職支援やひきこもり支援などの活動を行っている。



宮川 仁 (みやがわ・ひとし)

<プロフィール>

山梨英和大学 進路部 次長, 山梨県大学就職指導研究会 事務局長

1985年大学卒業後、山梨県の民間企業に就職。25年勤務の中で、主に総務、人事採用の責任者として従事する。2003年にJCDA(日本キャリア開発協会)のCDA資格を取得し、企業内キャリア開発や社員の能力開発を行う。2010年に山梨学院大学に転職、就職・キャリアセンターに所属し、大学生の就職支援、キャリア支援を行い、企業とのネットワークの構築や低学年向けのキャリア講座など、教職協働の支援体制を構築した。2020年より現在に至るまで山梨英和大学に勤務中。2021年に国家資格キャリアコンサルティングに登録。また、CIACが主催するインターンシップ専門人材研修へ参加し、インターンシップコーディネーターとして学生と企業の支援を行う。現在は、大学職員の他、「山梨県大学就職指導研究会」事務局長を務める。



沼尾 秀公 (ぬまお・しゅうこう)

<プロフィール>

1992年 3月 人文学部 卒

1992年 東京エレクトロン東北(株)(現:東京エレクトロンテクノロジーソリューションズ(株)東北事業所)入社

以来人事部門を中心にメーカー機能の管理部門全般に従事

2005年 東京エレクトロンAT(株)山梨事業所人事部 勤務(～2006年)

2020年 東京エレクトロン(株)総務人事ユニット担当部長(～2022年)

現:東京エレクトロンテクノロジーソリューションズ(株) BS部門統括部長 兼人事部長

【指定討論者】

杉山 崇 (すぎやま・たかし)

<プロフィール>

神奈川大学人間科学部 教授

臨床心理士・公認心理師、1級キャリアコンサルティング技能士。心理マネジメント研究所代表。日本学術振興会特別研究員などを経て現職。

「心理学でもっと幸せに！」を目指す心理学者。1994年から今日まで精神科、重度発達障害児、教育、産業、司法など各領域で、幼児から高齢者まで各年代の心理臨床活動に、2000年代から今日まで厚生労働省のキャリアコンサルティング事業に関わる。実存とキャリアの病としてのうつ病を心と脳の進化の観点から研究し、数多くの国費研究助成を獲得。TVなどマスコミでの啓発活動や著書も多数。啓発活動では脳心理学者を名乗る。

【企画・司会】

山本 和美 (やまもと・かずみ)

<プロフィール>

国立大学法人 山梨大学 教育統括機構 特任教授。国家資格2級キャリアコンサルティング技能士。埼玉大学大学院教育学研究科学校教育専攻(心理・教育実践学専修)博士前期課程修了(教育学修士)。大学生から社会人向けのキャリアカウンセリングおよびキャリアデザイン講師のほか、学校コンサルテーション、企業向け社員研修と、幅広い層のカウンセリングおよびコンサルティングに尽力してきた。主な研究テーマは、発達障害傾向のある学生(グレーゾーン)へのキャリアコンサルタントの関わりについて。

大会シンポジウムⅡ

●●11月24日(日) 12:30~14:00

現地対面 Zoom配信 アーカイブ公開

個と組織をつなぐリスキリングとは～支援者に求められるもの 行政、教育、企業の現場から～

(敬称略、順不同)

シンポジスト	佐藤 悦子	厚生労働省人材開発統括官 若年者・キャリア形成支援担当参事官付キャリア形成支援室長
	岡田 昌毅	キャリアコンサルティング協議会 会長、筑波大学教授
	木村 直史	株式会社青森銀行 人事部 シニアプランナー
	鈴木 孝夫	CTC テクノロジー株式会社
指定討論者	宮城 まり子	本学会名誉会長、キャリア心理学研究所 所長
企画・司会	馬場 洋介	日本キャリア・カウンセリング学会 会長 帝京平成大学大学院 臨床心理学研究科 教授

【企画主旨】

現在、リスキリングがクローズアップされています。しかし、日本経済新聞世論調査(2023)では、「長く働くための技能向上」への回答は14%に留まり、リスキリングの意欲は低く、意義を見出せない人が多いことが想定されます。一方、自律的キャリア形成が求められる中、キャリア・カウンセリングは、個人のスキルアップや豊かなライフキャリアを実現するための学びを支援する役割や、個人と組織の人材開発をつなぐ役割も期待されています。本シンポジウムでは、行政、教育機関、企業の現場から具体的な取り組みや課題等を共有します。シンポジストの話題提供後、指定討論者からの問題提起等を通して、個と組織をつなぐリスキリング支援の在り方について、現場の支援者に求められる姿勢、スキル、進め方等の視点で検討し、何等かのヒントが得られることが目的です。

【シンポジスト】

佐藤 悦子 (さとう・えつこ)

<プロフィール>



厚生労働省人材開発統括官付参事官(若年者・キャリア形成支援担当)付 キャリア形成支援室長

1992年労働省入省。外国人、地域、高齢者、障害者などの雇用対策に係る政策立案・事業運営、ハローワークの業務指導等に主に従事。久留米市協働推進部男女平等推進担当部長、広島労働局職業安定部長、厚生労働省職業安定局障害者雇用対策課主任障害者雇用専門官などを経て現職。キャリアコンサルティング、ジョブ・カード制度の普及促進等を通じた労働者の自発的な職業能力の開発・向上に関する施策を担当。

岡田 昌毅 (おかだ・まさき)

<プロフィール>



筑波大学 人間系教授・働く人への心理支援開発研究センター長

新日本製鐵(株)(現、日本製鉄)、新日鉄ソリューションズ(株)(現、日鉄ソリューションズ)において、電気設備技術者、人材育成担当を20数年間経験。2000年筑波大学大学院教育研究科カウンセリング専攻カウンセリングコース、2007年名古屋大学大学院教育発達科学研究科心理発達科学専攻修了。博士(心理学)。2006年から筑波大学。専門は「キャリア心理学」「産業・組織心理学」など。主な著書に「働くひとの心理学ー働くこと、キャリアを発達させること、そして生涯発達することー」、「働くひとの生涯発達心理学ーM-GTAによるキャリア研究ー Vol.1~3」などがある。

キャリアコンサルティング協議会会長、産業・組織心理学会前会長。

木村 直史 (きむら・なおふみ)

<プロフィール>

株式会社青森銀行 人事部 シニアプランナー

1966年3月青森市生まれ。大学卒業後、地元銀行に就職。支店長を経て55歳時に人事部への異動がきっかけで国家資格「キャリアコンサルタント」資格取得。現在は自社内にて1on1ミーティングやエンゲージメントサーベイを活用した組織開発やミドルシニア層のキャリア開発を担う。

国家資格キャリアコンサルタント (2022年5月登録)、1級ファイナンシャルプランニング技能士



鈴木 孝夫 (すずき・たかお)

<プロフィール>

CTC テクノロジー株式会社 人事部 採用育成課

1985年 伊藤忠データシステム株式会社 (現在の伊藤忠テクノソリューションズ。CTC) 入社。16年間ITエンジニアとして主に通信キャリア案件のサーバーシステム構築、保守業務を担当。その後は管理職としてテクニカルサポート部門で海外ベンダー製品の技術サポート業務に従事。2019年 国家資格キャリアコンサルタントを取得し、人事部にて採用および人材開発を担当し現在に至る。新卒採用、内定者研修、新入社員研修の設計から階層別、テーマ別研修設計。また社内キャリアコンサルタントとして、キャリアデザイン研修設計とカウンセリングを実施している。



【指定討論者】

宮城 まり子 (みやぎ・まりこ)

<プロフィール>

早稲田大学大学院文学研究科心理学専攻修士課程修了、立正大学心理学部臨床心理学科教授、法政大学キャリアデザイン学部教授、法政大学大学院キャリアデザイン学研究科教授を経て現在に至る。専門は、産業臨床心理学、キャリア心理学、キャリアカウンセリング。キャリアとメンタルの統合的支援、キャリアカウンセラーの養成、キャリアカウンセリングのスーパービジョン、企業におけるキャリア開発支援などに長く携わっている。



【企画・司会】

馬場 洋介 (ばば・ひろすけ)

<プロフィール>

日本キャリア・カウンセリング学会 会長

帝京平成大学大学院 臨床心理学研究科長 教授

平成医会 平成かぐらクリニック リワーク統括責任者。株式会社リクルートでメンタルヘルス担当、株式会社リクルートキャリアコンサルティングで再就職支援キャリアカウンセラーとして精神障害者等の就労支援に携わる。産業心理職育成をしながらメンタルヘルス専門医療機関リワーク責任者。日本産業心理職協会理事 (研修企画担当)、産業ソーシャルワーカー協会理事。『キャリア心理学 ライフデザイン・ワークブック』(共著 ナカニシヤ出版2018)。臨床心理士、公認心理師、2級キャリアコンサルティング技能士、キャリアコンサルタント、産業カウンセラー、中小企業診断士。



がん治療と仕事の両立支援—キャリアの視点で「生きる」を支える—

(敬称略、順不同)

シンポジスト	東川 麻子	株式会社 OH コンシェルジュ 代表取締役
	廣田 純子	一般社団法人がんと働く応援団 理事
指定討論者	廣川 進	法政大学キャリアデザイン学部 教授
企画・司会	藤田 るり子	株式会社富士通ラーニングメディア

【企画主旨】

がんに影響を受けた人たちの「生きる」を支えるために、カウンセラーや支援者（企業人事等）にどのようなサポートができるのか、皆様と共に考える場にしたいと存じます。

また個人の立場でご家族やご友人等のサポートに関わる方にもぜひ本シンポジウムへ関心をお寄せいただければと存じます。

がんに関わる領域では、医療従事者によって治療を中心とした支援が行われてきましたが、がんは人の命や存在意義を脅かす病です。生き様や人生を支えて伴走する支援が求められています。そこにはキャリア・カウンセラーや支援者が本領発揮できる出番があるといえるのではないのでしょうか。

本シンポジウムでは、ご自身もがんを経験されたお二人のシンポジストにご登壇いただき、いまだ議論・整理・対応が行き届いていないさまざまな課題を提起いただきます。

【シンポジスト】

東川 麻子 (ひがしかわ・あさこ)

<プロフィール>

株式会社OH コンシェルジュ 代表取締役

1998年、信州大学医学部卒業。住友金属工業株式会社（現・日本製鉄）鹿島製鉄所専属産業医の後、企業外労働衛生機関にて製造業、鉄道業、小売業、地方公共団体などの産業医を広く経験。2011年より株式会社 OH コンシェルジュ代表取締役。医学博士、労働衛生コンサルタント（保健衛生）、日本産業衛生学会指導医。

多くの企業の健康管理体制構築に携わる他、企業の健康管理を担う専門スタッフの育成、講演、執筆活動などを行う。2004年にがんの診断を受け、手術、抗がん剤治療、放射線治療を受けながら、産業医業務を継続。以降、がんの治療を受けながら就業を継続する多くの従業員をサポートしている。



廣田 純子 (ひろた・じゅんこ)

<プロフィール>

Office Citrus 代表、一般社団法人がんと働く応援団 理事、1級キャリアコンサルティング技能士、産業カウンセラー、両立支援コーディネーター、健康経営アドバイザー、アスリートキャリアコーディネーター、障害者職業生活相談員。

複数企業で人事総務職、管理職として多様な人、組織を支援して行く中で持った課題感と、自身のがん治療やひとり親での子育てと仕事の両立の経験からの課題感から、キャリアコンサルタント資格を取得。

現在はキャリアコンサルタントとして、一般社団法人の理事として、多様な人がイキイキと活躍できる社会へ向けて、「働く、生きる」の支援を続けている。



【指定討論者】



廣川 進 (ひろかわ・すすむ)

<プロフィール>

法政大学キャリアデザイン学部教授、日本キャリア・カウンセリング学会前会長、大正大学大学院博士課程(臨床心理学専攻)修了(文学博士)。海上保安庁惨事ストレス・メンタルヘルス対策アドバイザー、東京産業保健総合支援センター相談委員、被害者支援都民センター理事。著書に『失業のキャリアカウンセリング』(金剛出版)、『心理カウンセラーが教える「がんばりすぎて疲れてしまう」がラクになる本』(ディスカヴァー・トゥエンティワン)、『これで解決!シゴトとココロの問題』(労働新聞社)など。公認心理師、臨床心理士、シニア産業カウンセラー、2級キャリア・コンサルティング技能士。

【企画・司会】



藤田 るり子 (ふじた・るりこ)

<プロフィール>

株式会社富士通ラーニングメディア ナレッジサービス事業本部

人事、キャリア開発、人材開発などを経て2021年より現職。人材育成サービス事業の企画開発、研修講師、カウンセリングを通じて企業や組織で働く方々のキャリアをサポートしている。

2019年に大腸がんの手術、抗がん剤治療のため7ヶ月間の休職を経験。

産業カウンセラー、国家資格キャリアコンサルタント、2級キャリアコンサルティング技能士、両立支援コーディネーター。

●11月23日(土) 16:45~18:15

現地対面

ここを聴く「なおそうとするな、わかろうとせよ」

スーパービジョンでの皆さんから提出されたキャリアカウンセリングの「逐語録」を拝読しているとある共通点に気づきます。それは「早くクライアントの役に立ちたい」とするあまり「クライアント理解」(わかろうとする)よりも「問題解決」(なおとうとする)に走る傾向があることです。傾聴しクライアントを深く理解することなしに、どうしてクライアントの抱える問題解決支援ができるのでしょうか。クライアントと温かく向き合い「ここを聴く」カウンセラーになるためには「何が大切なのか」、カウンセラーに「何が求められるのか」に意見交換しながら考えましょう。



宮城 まり子 (みやぎ・まりこ)

早稲田大学大学院文学研究科心理学専攻修士課程修了、立正大学心理学部臨床心理学教授、法政大学キャリアデザイン学部教授、法政大学大学院キャリアデザイン学研究科教授を経て現在に至る。専門は、産業臨床心理学、キャリア心理学、キャリアカウンセリング。キャリアとメンタルの統合的支援、キャリアカウンセラーの養成、キャリアカウンセリングのスーパービジョン、企業おけるキャリア開発支援などに長く携わっている。

MEMO

●11月23日(土) 13:15~14:45

Zoom配信

W1

ほんものの傾聴を学ぶ

※当日リアルタイム配信のみ、後日のアーカイブ公開はありません。

この研修では、傾聴をその本質にさかのぼって考え、トレーニングをします。

あなたは、ほんとうに傾聴が出来ているでしょうか

傾聴くらい当然できている。そう思われるかもしれません。

しかし、目的に応じて傾聴も異なります。

カウンセリングも初回から2回目くらいまでは相手に寄り添う「一般的な傾聴」で事足りますが、3回目以降になると、「深める傾聴」の工夫も必要になります。

ロジャーズのカウンセリングはじつは、「深める傾聴」の最高度のもので、相手の言葉を繰り返すなど、ロジャーズはほぼしていません。ロジャーズのカウンセリングと、ロジャーズっぽい傾聴とは、まったく質が異なります。

この研修では、どんな時にどんな傾聴が求められるか。

そのアセスメントのポイントもお話します

講師

諸富 祥彦 (もろとみ・よしひこ)

明治大学文学部 教授

筑波大大学院博士課程修了。博士(教育学)。千葉大学教育学部講師、助教授を経て、現在、明治大学文学部教授。日本トランスパーソナル学会会長。日本カウンセリング学会理事。専門は、人間性心理学やトランスパーソナル心理学、中でもロジャーズやジェンドリン、ミンデルらの考えをもとにした自己探究のカウンセリング。EAMAという独自の統合的アプローチを開発・実践。気づきと学びの心理学研究会アウエアネス (<https://morotomi.net/>)にて、グループカウンセリングやワークショップを行う。



著書

『カール・ロジャーズ』(角川選書)『フランクフル心理学入門』(角川文庫)『フランクフル』(講談社選書)『カウンセリングの理論』(上)(下)『新しいカウンセリングの技法』『カウンセラー、コーチ、キャリアコンサルタントのための自己探究カウンセリング入門 EAMAの理論と実践』(誠信書房)『自己成長の心理学』(コスモスライブラリー)『50をすぎたら3年単位で生きなさい』(河出書房)など多数

W2

キャリアのための脳心理学：展望の脳と Well Formed Goals—第2の命を守るために

私たちが行っているキャリアのカウンセリング（コンサルティング）はクライアントの心と脳にどのような影響を与えているのでしょうか？そして、私たちは何を指してクライアントと向き合うべきなのでしょう？この研修では脳心理学から、この問いへの答えを見つけましょう。単なる座学ではなく、ワークを通して参加者のみなさまとの双方向型の研修を行う予定です。

講師

杉山 崇（すぎやま・たかし）

神奈川大学人間科学部 教授

臨床心理士・公認心理師、1級キャリアコンサルティング技能士。心理マネジメント研究所代表。日本学術振興会特別研究員などを経て現職。

「心理学でもっと幸せに！」を目指す心理学者。1994年から今日まで精神科、重度発達障害児、教育、産業、司法など各領域で、幼児から高齢者まで各年代の心理臨床活動に、2000年代から今日まで厚生労働省のキャリアコンサルティング事業に関わる。実存とキャリアの病としてのうつ病を心と脳の進化の観点から研究し、数多くの国費研究助成を獲得。TV などマスコミでの啓発活動や著書も多数。啓発活動では脳心理学者を名乗る。



W3

治療関係を考える：カウンセリングにおける治療的体験の追究

キャリア・カウンセリングは、社会的・職業的な信用に基づいて情報提供したり、教育的な指導をしたりする支援として実践されることも多いものの、本来的には心理カウンセリングやサイコセラピーと変わらない深い人格のレベルへの働きかけを含むものです。そうであれば、通りいっぺんの職業的な信頼関係を超えて、人と人として深く安心できる、感情の絆を伴う信頼関係を作ることが重要になります。治療同盟ないし作業同盟と呼ばれる治療関係の要素について、治療同盟の亀裂とその修復について、そして我と汝、出会いのモーメント、深い関係性などと呼ばれる、それ自体で治療的価値をもった関係性の深化について、考えてみたいと思います。

講師

杉原 保史（すぎはら・やすし）

京都大学学生総合支援機構学生相談部門 部門長（教授）

1961年神戸市生まれ。教育学博士。公認心理師。臨床心理士。日本心理療法統合学会副理事長。京都大学の学部・大学院で臨床心理学を学ぶ。大谷大学文学部専任講師、京都大学保健管理センター講師等を経て、現職。30代の終わり頃にポール・ワクテルの心理療法統合の考え方に会い、ワクテルの主要著作4冊を翻訳。その後、やはり心理療法統合の流れに属するジェローム・フランクの古典的名著『説得と治療』を翻訳。関係モデルによる統合的な心理カウンセリングを学び、日々、実践している。



W4

ナラティブ・スーパービジョン(RC) 認証し可能性を探究しながら実践を振り返る、協働的会話

スーパービジョンでは、教育や指導、管理などの側面が強調されてきましたが、SV の場で、カウンセラーがしっかりと支えられること、ケアされることも大切なこととなります。

ナラティブ・セラピーに取り組むコミュニティでは、SV についてもさまざまな提案をしています。そのような取り組みを参考した、ナラティブ実践協働研究センターで提唱している RC (Reflexive Conversation) について説明します。

RC では、1 対 1 のセッションではなく、グループでの取り組みとなりますが、カウンセラーの取り組みがしっかりと認証されてから、今後どのような関わりができるのかの可能性について検討していきます。RC は SV だけでなく、さまざまな領域で活用できる可能性があります。

講師

国重 浩一 (くにしげ・こういち)

一般社団法人ナラティブ実践協働研究センター



1964 年、東京都墨田区生まれ。ニュージーランド (NZ) ワイカト大学カウンセリング大学院修了。臨床心理士、NZ カウンセラー協会会員。鹿児島県スクールカウンセラー、東日本大震災時の宮城県緊急派遣カウンセラーなどを経て、2013 年から NZ に在住。同年に移民や難民に対する心理援助を提供するための現地 NPO 法人ダイバーシティ・カウンセリング NZ を立ち上げる。2019 年には東京に一般社団法人ナラティブ実践協働研究センターの立ち上げに参加。2023 年 9 月に拠点を NZ から滋賀県に移す。

著書に、『ナラティブ・セラピーの会話術』『震災被災地で心理援助職に何ができるのか?』『どもる子どもとの対話』など。訳書に、『ナラティブ・アプローチの理論から実践まで』『ナラティブ・メデイエーション』『心理援助職のためのスーパービジョン』『カップル・カウンセリング入門』など。

W5

ワーキング心理学が探求する、21 世紀の「働くこと」とは
～ブルスティン博士が対話会で、私たちに語ったこと～

「21 世紀の働くを考える会」は、D.L.ブルスティン博士著『人間の仕事 意味と尊厳』(2023,和訳)の監訳者とその書の趣旨に賛同する有志により、2023 年 12 月に設立されました。

21 世紀の仕事の世界は、デジタル AI の進展だけでなく、グローバルな政治、経済の変動や歴史的文化的変化の文脈の中で、「働くこと」を巡って多くの人々に不安定性と不確実性をもたらしています。本研修会では、ブルスティン博士が、本年 6 月、日本での基調講演『働くことの意味と尊厳とウェル・ビーイング』および講話『不安定性の心理学』の中で語ったことを中心に、「ワーキング心理学とは何か」そして、それが私達の働くことの未来に何をもちたらすかについて理解を深めます。

講師

作田 稔 (さくだ・みのる)

21 世紀の働くを考える会 代表



コニカミノルタにて人材開発、組織開発、経営の質的革新などに従事。社団法人東京都地域産業振興協会専務理事、同志社大学講師、北里大学講師、ライフデザインカウンセリング研究所客員教授、日本リフレクティング協会理事、産業カウンセリング学会理事など歴任。東京工業大学大学院イノベーションマネジメント博士後期課程修了。博士 (MOT)。1 級キャリアコンサルティング技能士。シニアライフ・デザインおよびワーキング心理学の普及・実践に取り組む。共著書に『人間の仕事ー意味と尊厳』(白桃書房)、『キャリアを超えて ワーキング心理学』(白桃書房)、『サビカスキャリアカウンセリング理論』(福村出版)などがある。

W6

解決志向ブリーフセラピー入門

解決志向ブリーフセラピーは、クライアントに「足りないもの」や「欠けているもの」に目を向けるのではなく、クライアントに「あるもの」や「すでに持っているもの」に注目をします。また、問題が生じている意味、原因、背景、あるいは問題を維持している要因に目を向けるのではなく、問題が生じていない時や、問題が比較的マシだったときに注目をします。

これらの習得には、コツが必要になるため、講義による解説のみならずワークを取り入れて体感的に理解していただきます。

あくまで「入門」の内容になりますが、初めて解決志向ブリーフセラピーを学ぶ方には最適の研修になります。

講師

久持 修 (ひさもち・おさむ)

【現職】

やまき心理臨床オフィス 代表

株式会社 AI Counselling

ルバート心理カウンセリング

國學院久我山中学・高等学校スクールカウンセラー

社会福祉法人多摩養育園

明星大学非常勤講師



【経歴】

<やまき心理臨床オフィス>

2009年にやまき心理臨床オフィスに参画

2016年にやまき心理臨床オフィスを法人化させる

2018年にやまき心理臨床オフィスの代表となる

2024年にやまき心理臨床オフィス長崎ルームを新設

<日本ブリーフサイコセラピー学会>

第7期 理事 (2014年4月~2017年3月)

第8期 常任理事:事務局長 (2017年~2020年)

第9期 会長 (2020年~2023年)

第10期 理事 (2023年~現在)

<日本公認心理師協会>

私設臨床委員会 委員 (2019年~2022年)

私設臨床委員会 委員長 (2022年~現在)



—— 実 践 賞 ——

南 陽 子 殿

第28回大会 研究発表・
実践報告・学位研究発表

優秀賞

前野 良和 殿

同

奨励賞

相澤 秀一 殿

同

奨励賞

前田 亜樹・杉山 崇 殿

同

奨励賞

丸山 尚人・岩崎 久美子 殿





————— 昨年度学会賞受賞講演 —————

廣川 進 殿

(法政大学 キャリアデザイン学部 教授)

「65歳の私が今、伝えたいこと
関わりの中で支援する/されること、
思うにまかせぬ人生を歩むほかない (喪失の) 語りを聴くこと」



相談サロン

●研究相談サロン（無料）

11月23日（土） 13:15～14:45

現地対面

第29回大会にて「研究相談サロン」を開催します！

研究相談サロンとは

研究に興味はあるがやり方がわからない、既に研究を始めているが困っている、大会発表や投稿の準備をしたいなど、研究に関して気楽に相談できる場です。他学会では類を見ない本学会ならではのサービスです。

出入り自由ですから、研究に興味ある方は、お気軽にふらっと立ち寄ってみませんか。

対 象	大会参加者（非会員でも OK です）
日 時	2024年11月23日(土) 13:15-14:45
場 所	第29回大会会場（山梨大学甲府西キャンパス） Y号館 14号室
参加方法	予約不要、出入り自由です
実施方法	本学会の研究委員と一対一で相談ができます（20～30分程度） 複数人でワイワイガヤガヤお話することもできます
参加料	無料（大会参加費に含まれています）

【注意事項】

相談員は、助言・提案・情報提供を行うことがありますが、それをどのように活用するかについてはご自身の責任と判断で行ってください。満席の場合は、最大30分ほどお待ちいただく場合がございます。

【対応する相談員（研究委員）】



古田 克利（研究委員長）

立命館大学大学院テクノロジー・マネジメント研究科 副研究科長／教授。日本キャリア・カウンセリング学会 副会長／研究委員長。1級キャリアコンサルティング技能士、公認心理師。同志社大学大学院総合政策科学研究科技術・革新的経営専攻修了、博士（技術・革新的経営）。2023年6月まで『キャリア・カウンセリング研究』誌 編集委員長。現在、日本キャリア教育学会の編集委員を務めている。専門は組織行動論、人的資源管理論。



浅野 浩美

事業創造大学院大学事業創造研究科 教授。1級キャリアコンサルティング技能士、国家資格キャリアコンサルタント、産業カウンセラー、社会保険労務士。筑波大学大学院ビジネス科学研究科企業科学専攻修了、博士（システムズ・マネジメント）。厚生労働省において、キャリアコンサルティング施策を推進。著書に『キャリアコンサルタント・人事パーソンのための キャリアコンサルティング』（労務行政）、『日本キャリアカウンセリング史 正しい理解と実践のために』（共著。実業之日本社）など。専門は人的資源管理論、キャリア論。



片岡 亜紀子

早稲田大学グローバルエデュケーションセンター講師。法政大学大学院政策創造研究科博士後期課程修了、博士（政策学）。国家資格キャリアコンサルタント、専門社会調査士。NEC、教育事業会社等を経て現職。離職期間の経験から、キャリア中断と再構築に関する研究を行う。専門はキャリア形成、地域のサードプレイス、リーダーシップ開発。著書に『LIFE CAREER: 人生100年時代の私らしい働き方』（共著：金子書房）、『ゆるい場をつくる人々：サードプレイスを生み出す17のストーリー』（共著：学芸出版社）、『キャリアブレイク ― 手放すことは空白（ブランク）ではない』（共著：千倉書房）がある。



高橋 浩

ユースキャリア研究所代表。日本キャリア開発協会理事。法政大学大学院／目白大学大学院他、講師。キャリアコンサルタント、公認心理師。立正大学大学院心理学研究科博士後期課程満期退学、博士（心理学）。1987年、NECグループの半導体設計会社に入社し、設計エンジニア、品質管理、経営企画、キャリア相談に従事しながら大学院を修了、2012年に独立して現職。専門は、キャリア心理学、産業・組織心理学、コミュニティ心理学。現在、企業内キャリア開発の研修講師、カウンセラー、スーパーバイザー、および調査研究に従事。



高山 美穂

医療機器メーカーHR所属キャリア形成支援担当。国家資格キャリアコンサルタント、2級キャリアコンサルティング技能士。名古屋大学大学院教育発達科学研究科心理発達科学専攻博士前期課程修了、修士（心理学）。卒業後は建築業や金融業、人材紹介業で経営企画から個人・法人営業職まで多岐にわたる分野を経験し、現職。2020年より社内のキャリア支援、相談業務立ち上げに携わり、現役の企業内キャリアコンサルタント。



永野 惣一

淑徳大学総合福祉学部実践心理学科 准教授。筑波大学大学院人間総合科学研究科修了、博士（カウンセリング科学）。公認心理師、精神保健福祉士、認定心理士。EAP企業のカウンセラー、地域障害者職業センターのリワークカウンセラー、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 障害者職業総合センター研究員、筑波大学働く人への心理支援開発研究センター研究員を経て現職。専門は職場のメンタルヘルス、産業カウンセリング、産業・組織心理学。



野田 実希

立命館大学総合心理学部 准教授。臨床心理士、公認心理師。京都大学大学院教育学研究科臨床教育学専攻博士後期課程修了、博士（教育学）。臨床心理士・公認心理師の養成に携わるとともに、主に教育、医療、産業領域での心理臨床実践に従事してきた。専門は臨床心理学、職業人のメンタルヘルス、復職支援、質的研究方法論、ナラティブ。社会人経験を通した問題意識から、当事者の視点に基づいた質的研究を主に行っている。著書に『働くわたし』を失うとき：病休の語りを聴く臨床心理学』がある。



原 恵子

埼玉学園大学人間学部心理学科 教授。筑波大学働く人への心理支援開発研究センター客員研究員。筑波大学大学院人間総合科学研究科修了、博士（カウンセリング科学）。キャリアコンサルタント、公認心理師、1級キャリアコンサルティング技能士。ベネッセコーポレーション・同グループ人材派遣会社にて従事後、筑波大学人間系研究員・准教授等を経て現職。専門領域はキャリア心理学、産業・組織心理学。著書に『働くひとの生涯発達心理学-M-GTAを通したキャリア研究-(晃洋書房)(1~3巻)』(共著)、『キャリア心理学ライフデザイン・ワークブック(ナカニシヤ出版)』(共著)などがある。



堀内 泰利

筑波大学働く人への心理支援開発研究センター 研究員。筑波大学大学院人間総合科学研究科修了、博士（カウンセリング科学）。キャリアコンサルタント、公認心理師、1級キャリアコンサルティング技能士。NECで長く人事・人材育成を担当、2002年にキャリア支援施策を立ち上げ、以降キャリアアドバイザーとして従業員のキャリア形成支援に携わる。2014年から現職。専門領域はキャリア心理学、産業・組織心理学。著書に『働くひとの生涯発達心理学-M-GTAを通したキャリア研究(1巻)』(執筆分担、晃洋書房)、『生涯発達の中のカウンセリングⅢ』(執筆分担、サイエンス社)などがある。

●スーパービジョン相談サロン（無料）

11月24日（日） 12:30-14:00

現地対面

第29回大会では、昨年度に引き続き「スーパービジョン相談サロン」を開催します！

スーパービジョン相談サロンでは、「スーパービジョンをもっと身近に！」を合言葉に、「スーパービジョンを知りたい」「スーパービジョンを受けたい」「スーパーバイザーになりたい」など、スーパービジョンに対するさまざまなご要望やご相談をお受けします。

なお、当日の午前中には、同じ会場で、「ライブ スーパービジョン 1」（10：00～11：30）として、「スーパービジョンの魅力と効果Ⅱーライブ方式によるスーパービジョンとSVメンタリングの実際」が開催されますので、併せてご参加ください。

対 象	第29回大会参加者（非会員の方も大歓迎です）
日 時	2024年11月24日（日）12:30～14:00（90分）
場 所	第29回大会会場（山梨大学甲府西キャンパス） ラウンジ
参加方法	予約不要

【スーパービジョン相談サロン - 3つのエリア】

第1エリアは、「スーパービジョンを知りたい」という方におすすめです。「スーパービジョンって何？」「スーパービジョンはカウンセリングとどう違うのか？」「スーパービジョンに興味・関心はあるが、その内容がよくわからない」「スーパービジョンと事例検討・事例指導の違いを知りたい」など、スーパービジョンに関する疑問や質問にお答えします。

第2エリアは、「スーパービジョンを受けたい」という方におすすめです。「自己研鑽のためにスーパービジョンを受けたいが、スーパーバイザーを知らない」「どのようにしてスーパーバイザーを探せばよいか？」などのお悩みから、スーパービジョンを受けるための事前準備やスーパービジョンの上手な受け方など、スーパービジョンを効果的に活用しようと考えている方に、具体的な情報やアドバイスを提供します。

第3エリアは、「スーパーバイザーになりたい」という方におすすめです。日本キャリア・カウンセリング学会が13年にわたって実施してきたスーパーバイザー養成講座のカリキュラムを基に、スーパーバイザーになるための訓練（スーパービジョン・メンタリング）の実際について紹介しながら、ご相談に応じます。

【担当する相談員（50音順）】

内山 春美

NPO 浜松カウンセリングセンター所属（シニア産業カウンセラー、キャリアコンサルタント、特別支援教育士、公認心理師）。学会スーパーバイザー養成講座1期生、学会認定スーパーバイザー・スーパービジョンメンター。公施設や企業の相談室・スクールカウンセラー・就労支援相談等経験。スーパービジョンでは対話を通し、成長した実感と次に取り組みたいことの決意を得られると思います。

緒方 一子

立教大学兼任講師、放送大学非常勤講師、精神科クリニック臨床心理士。

臨床心理士、シニア産業カウンセラー、1級キャリアコンサルティング技能士。

本学会スーパーバイザー養成講座のスタート時より関わっています。スーパービジョンの奥深さを痛感して学びを継続しています。

小澤 康司

立正大学心理学研究科長。学会認定スーパーバイザー・スーパービジョンメンター。臨床心理士、公認心理師、キャリアコンサルタント。カウンセラーとしての成長を目指すにはスーパービジョンが不可欠です。学会のスーパービジョンは、学派を超えたスーパービジョンモデルで行っていますので、安心してぜひご参加ください。

小松原 智子

所属：日本福祉大学大学院准教授。活動領域：医療・産業・司法・教育。

保有資格：学会認定スーパーバイザー・スーパービジョンメンター、臨床心理士、公認心理師、キャリアコンサルタント、2級キャリアコンサルティング技能士。

スーパーバイザー養成講座1期生として学び始め、今も、ともに学びあう姿勢を心がけて関わっています。

上脇 貴

カウンセリングには、勤務先で総務人事業務を担当していたことから、個人同士や個人と組織の関係に生じる問題に関心を持つようになり、約30年前に社会人大学院で基礎を学んで以来関わってきました。スーパービジョンには、前身の産業カウンセリング学会でスーパーバイザーの育成と学会認定の検討を始めたころから取り組んでいます。

1級キャリアコンサルティング技能士、学会認定スーパーバイザー・スーパービジョンメンター等。NPO法人日本家族カウンセリング協会副理事長

寺田 正美

学会認定スーパーバイザー・スーパービジョンメンター、上級教育カウンセラー等。

長年月企業研修講師、大学にて産業カウンセリング担当講師等。1955年頃よりACAにてスーパービジョンについて学び、刺激を受け、2003年「Supervision Strategy」を共訳。

本学会スーパーバイザー養成講座のスタート時より、スーパービジョンの探求・指導を継続。まずはスーパービジョンを受け、自己成長する喜びを体験していただけたらと願っています。

文川 実

日本キャリア・カウンセリング研究会（JCC）副会長、ナラティブ実践協働研究センター（NPACC）スターティングメンバー。公認心理師、1級キャリアコンサルティング技能士、スーパーバイザー（日本キャリア・カウンセリング学会認定）、アサーション認定トレーナー（日本精神技術研究所認定）。専門は、カウンセリング、キャリア開発、アサーション・トレーニング、グループ・アプローチ、組織開発。

三川 俊樹

追手門学院大学心理学部教授。本学会の前身であった日本産業カウンセリング学会のスーパーバイザー養成講座の準備段階からスーパーバイザーの養成訓練に携わってきました。カウンセリング、スーパービジョン、SVメンタリングという3つの活動が同じ構造をもっていることを基礎に、カウンセラー、スーパーバイザー、SVメンターの育成に取り組んでいます。

●11月23日(土) 13:15-14:45

現地対面 Zoom配信

企業領域連携強化委員会

組織における「マイノリティ支援」とキャリアコンサルタントの役割

(敬称略、順不同)

パネリスト	廣田 純子	Office Citrus 代表、一般社団法人がんと働く応援団 理事
	中野 愛子	一般社団法人オトナ思春期をデザインするプロジェクト理事
	桜井 伸子	株式会社ブリヂストン健康経営推進課主幹 兼カウンセリング室長
企画・進行	長久保 逸郎	当学会理事 兼 企業領域連携強化委員長

【企画主旨】

日本語で「マイノリティ」という場合、ほとんどは「社会的少数者」のことをさしますが、単純な「少数派」という意味ではなく、様々な視点から見たときの「社会的少数派」で、そのことにより差別や偏見などを受けやすい人・集団のことを「マイノリティ」と呼びます。あなたの所属する組織・コミュニティの中にも、マイノリティの方は必ず存在します。ここでは「マイノリティ」をテーマに、企業内における具体例や対象者が抱えている問題、望ましい関わりや支援、組織への働きかけについて、登壇者を中心に参加者の皆様とも情報・意見交換することで、キャリアコンサルタントの視点があるからこそできる具体的支援を一緒に考えたいと思います。

【パネリスト】

廣田 純子 (ひろた・じゅんこ)

<プロフィール>

Office Citrus 代表、一般社団法人がんと働く応援団 理事、1級キャリアコンサルティング技能士、産業カウンセラー、両立支援コーディネーター、健康経営アドバイザー、アスリートキャリアコーディネーター、障害者職業生活相談員。

複数企業で人事総務職、管理職として多様な人、組織を支援してきた。自身のがん治療やひとり親での子育てと仕事の両立の経験から課題感を持ち、キャリアコンサルタント資格を取得。

現在はキャリアコンサルタントとして、一般社団法人の理事として、多様な人がイキイキと活躍できる社会へ向けて、「働く、生きる」の支援を続けている。



中野 愛子 (なかの・あいこ)

<プロフィール>

一般社団法人オトナ思春期をデザインするプロジェクト理事。2級キャリアコンサルティング技能士、EAPメンタルヘルスカウンセラー(EMCA認定)、メンタルヘルスマネジメント検定I種、心理的安全性認定ファシリテーター、Points of You®認定 エキスパート。

マーケティング支援企業にて、営業、マネジメントなどを経験するも「中年の危機」をきっかけに、キャリアコンサルタント資格を取得し人事職にキャリアチェンジ。マネージャーを務めつつ、体調不良者の復職支援、労務対応、キャリア相談等で、個人と組織、両面のサポートを行ってきたが、50歳を機に退職。自分純度を高めても生きられるか実験すべくキャリアブレイク中。





桜井 伸子（さくらい・のぶこ）

<プロフィール>

株式会社ブリヂストン 健康経営推進課主幹 兼 カウンセリング室長

公認心理師、精神保健福祉士、2級キャリアコンサルティング技能士、

障害者職業生活相談員、両立支援コーディネーター、産業カウンセラー、第1種衛生管理者。

2007年より同社 経営企画部門にてコンプライアンス推進を担当。

その後、人事部門においてダイバーシティ推進課長として多様なメンバーと協力し、女性活躍・LGBTQ支援・育児介護制度・障がい者雇用等を推進。2016年からはカウンセリング室長を兼務、2020年より現職。

一貫して社内外のあらゆる階層の相談に対応。対応した件数は1000件を上回る。

【企画・進行】



長久保 逸郎（ながくぼ・いつろう）

<プロフィール>

日本キャリア・カウンセリング学会理事/企業連携強化委員長、NPO法人ソサエティ・オブ・

キャリアコンサルテント理事、2級キャリアコンサルティング技能士、EMCA認定EAPメン

タルヘルスカウンセラー、メンタルヘルスマネジメント検定I種、高障求支援機構企業在籍
型障がい者ジョブコーチ

大卒後、国際物流企業で海外駐在含む営業部門、総務企画部門を経て人事部にて産業保健領
域休職者復職者支援、障がい者雇用促進定着支援を担当。2021年に定年退職後、同社にて再
雇用契約で継続勤務(障害者雇用担当)する傍ら当学会運営やNPO法人運営に関わる。

MEMO

委員会企画 2

●11月23日(土) 15:00-16:30

現地対面 Zoom配信

政策提言委員会

キャリアコンサルタントの質的向上～向上のためのサイクルとは

(敬称略、順不同)

シンポジスト	宮地 多佳	未知シルベ キャリアコンサルタント
	佐藤 悦子	厚生労働省人材開発統括官 若年者・キャリア形成支援担当参事官付キャリア形成支援室長
	田中 稔哉	株式会社日本マンパワー 代表取締役会長
進行	石見 忠士	こころの耳運営事務局 事務局長
企画	松本 桂樹	日本キャリア・カウンセリング学会 政策提言委員会委員長

【企画主旨】

キャリアコンサルタントが国家資格化して8年が経過し、登録者が7万人を超えるなか、真に社会に求められる職として在り続けるために、質の高い支援の提供が求められています。一方で、指導者不足やスーパービジョンの低受講率など、質的向上に向けた課題も見受けられます。そこで、本企画ではキャリアコンサルタントの質的向上について、現場、資格認定、養成団体が、どのように有機的に連携していけるかを考えます。当日はシンポジスト同志の意見交換だけでなく、参加者の皆様を巻き込んで一緒に検討できれば幸いです。

【シンポジスト】



宮地 多佳 (みやち たか)

<プロフィール>

未知シルベ キャリアコンサルタント

GCDF-Japan キャリアカウンセラー、国家資格キャリアコンサルタント、2級キャリアコンサルティング技能士。大学卒業後、国際物流会社へ入社。社長秘書、総務業務を経験後、人材サービス業界へ転職。企業の採用支援や転職者相談に従事。2017年より、フリーランスのキャリアコンサルタントとして活動中。現在は、大学・高校のキャリア支援・キャリア教育、中小企業のセルフ・キャリアドッグ、福祉分野の面談に携わっている。昨年度は、10代～70代を対象に、年間のべ500件の面談を実施。



佐藤 悦子 (さとう えつこ)

<プロフィール>

厚生労働省人材開発統括官付参事官(若年者・キャリア形成支援担当)付
キャリア形成支援室長

1992年労働省入省。外国人、地域、高齢者、障害者などの雇用対策に係る政策立案・事業運営、ハローワークの業務指導等に主に従事。久留米市協働推進部男女平等推進担当部長、広島労働局職業安定部長、厚生労働省職業安定局障害者雇用対策課主任障害者雇用専門官などを経て現職。キャリアコンサルティング、ジョブ・カード制度の普及促進等を通じた労働者の自発的な職業能力の開発・向上に関する施策を担当。

田中 稔哉（たなか としや）

<プロフィール>

株式会社日本マンパワー 代表取締役会長

企業の人事業務全般を経験後、コンサルティング会社にて新規事業開発、関連会社経営に従事。中小企業の採用支援、大学生の就職支援事業の立ち上げを経て、2000年に日本マンパワー入社。キャリアカウンセラー（CDA）養成講座の開発・運営・講義、大学・高校向けキャリア教育プログラム開発・講義、行政機関への雇用対策事業の提案・企画・運営を担当した。現場ではジョブカフェや大学のキャリアセンターのチーフキャリアカウンセラーやスーパーバイザーを務めた。その他、企業研修の企画・運営、中小企業診断士養成などを担当してきた。公認心理師、精神保健福祉士、1級キャリアコンサルティング技能士、実務教育学修士（専門職）



【進行】

石見 忠士（いわみ ただし）

<プロフィール>

こころの耳運営事務局 事務局長

2008年より東京産業保健総合支援センターのメンタルヘルス対策促進員として活動。300社以上にて、メンタルヘルス研修などの支援を行う。2011年より現職。厚生労働省委託事業「こころの耳」サイト事業の運営責任者としてメンタルヘルスに関する最新動向の他、140社以上の全国の先進・良好事例を自ら取材し、働く人・組織に役立つ情報を提供している。2024年6月より日本公認心理師協会「産業・労働分野委員会」委員長。公認心理師、キャリアコンサルタント、産業カウンセラー。



【企画】

松本 桂樹（まつもと けいき）

<プロフィール>

日本キャリア・カウンセリング学会 政策提言委員会委員長

株式会社ジャパンEAPシステムズ 取締役

大学院修了後、都内の精神科クリニックにて心理職として勤務した後、日本初のEAP専門会社であるジャパンEAPシステムズの起ち上げに関わる。日本におけるEAPのパイオニアであり、現在も働く人のキャリア及びメンタルヘルスに関する相談を数多く受けている。臨床心理士・1級キャリアコンサルティング技能士等の資格を有し、神奈川大学客員教授。



委員会企画 3

●11月23日(土) 16:45~18:15

Zoom配信

企業領域連携強化委員会

『楠木新ゼミ 〈ミドルシニア世代向けキャリア形成ゼミ〉』を振り返る

(敬称略、順不同)

ゼミ主催者 楠木 新 元神戸松蔭女子学院大学人間科学部都市生活学科教授
企画・進行 長久保 逸郎 当学会理事 兼 企業領域連携強化委員長

【企画主旨】

ベストセラー「定年後」等多数の著者である楠木新先生にゼミ主宰をお願いし、当委員会のキャリアコンサルタント8名がゼミ生として、『もう一人の自分を作る』をテーマに人生後半戦を概観し、いかに長い定年後の期間を充実して過ごすか・・・について半年に亘りゼミ形式で議論を行なってきました。この楠木新ゼミでどのような意見交換、気づきや学びがあったのか。そして、企業で行われてきている「退職に向けたセカンドキャリア研修(黄昏研修)」に代わる「もう一人の自分を作る研修」をキャリアコンサルタントとして企画することができないのか・・・等を楠木先生とゼミ生達が振り返ります。

【ゼミ主催者】



楠木 新 (くすのき・あらた)

<プロフィール>

1954年神戸市生まれ。京都大学法学部卒業。1979年生命保険会社に入社し、人事・労務関係を中心に、経営企画、支社長等を経験。50歳から勤務と並行して、「働く意味」をテーマに取材・執筆・講演に取り組む。2007年大阪府立大学大学院経営学研究科でMBAを取得。2015年60歳で定年退職。2018年4月より神戸松蔭女子学院大学人間科学部都市生活学科教授。2022年3月大学を退任。楠木ライフ&キャリア研究所代表。著書には、25万部を超えたベストセラー『定年後』をはじめ『定年準備』、『定年後のお金』、「転身力」(以上、中公新書)、「人事部は見ている。」(日経)をはじめ多数。

【企画・進行】



長久保 逸郎 (ながくぼ・いつろう)

<プロフィール>

日本キャリア・カウンセリング学会理事 / 企業連携強化委員長、NPO 法人ソサエティ・オブ・キャリアコンサルタント理事、2級キャリアコンサルティング技能士、EMCA 認定 EAP メンタルヘルスカウンセラー、メンタルヘルスマネジメント検定 I 種、高障求支援機構企業在籍型障害者ジョブコーチ

大卒後、国際物流企業で海外駐在含む営業部門、総務経営企画部門を経て人事部にて産業保健領域休職者復職者支援、障害者雇用促進定着支援を担当。2021年に定年退職後、同社にて再雇用契約で継続勤務(障害者雇用担当)する傍ら当学会運営や NPO 法人運営に関わる。

委員会企画 4

●11月23日(土) 18:30~19:30

Zoom配信

地域活性化委員会

オンライン交流会

モデレーター 加賀谷 晴美 日本キャリア・カウンセリング学会 地域活性化委員長

【企画主旨】

日本キャリア・カウンセリング学会の大会は、参加者同士が直接交流し、活発にコミュニケーションを深められる場として親しまれています。しかし、今回は地方大会ということもあり、遠方にお住まいで現地に足を運ぶことが難しい方もいらっしゃるのではないのでしょうか。そんな皆さまのために、オンライン形式でつながりを広げる機会を提供したいという思いから、このオンライン交流会を企画しました。

参加者の皆さまが一言 PR 等を発言しながら、つながりを広げる機会になればと思っています。ご自身の活動や関心事、地元の魅力的なスポット、最近夢中になっている推し活など、自由にお話してください。気軽に話題を共有する中で、思わぬ共通点や新しい発見が生まれるかもしれません。また、オンラインだからこそ、地理的な制約を越えて多様なバックグラウンドを持つ支援者同士が出会えるのも、この交流会の魅力です。

【モデレーター】



加賀 谷晴美 (かがや・はるみ)

<プロフィール>

日本キャリア・カウンセリング学会 理事・地域活性化委員長

モデレーターは、札幌から地域活性化委員長の加賀谷晴美が務めます。ゆったりとした雰囲気で行進いたしますので、初めての方でも安心してご参加いただけます。遠方からでも学会のつながりを感じられるこの機会を、どうぞお楽しみください！

MEMO

委員会企画 5

●11月24日(日) 10:00~11:30

現地対面 Zoom配信

国際交流委員会

クロストーク2

いま改めて問うキャリア・カウンセリング ～ナラティブとソーシャルジャスティス～

(敬称略、順不同)

シンポジスト	下村 英雄	労働政策研究・研修機構職業構造 職業指導部門統括研究員
パネリスト	国重 浩一	ナラティブ実践協働研究センター所属、当学会国際交流委員
	浅野 衣子	株式会社キャリア開発サポーターズ代表取締役、ナラティブ実践協働研究センター所属、当学会国際交流委員
	三好 真	大妻女子大学人間関係学部人間関係学科講師、全米認定カウンセラー (National Certified Counselor)、当学会国際交流委員
	三宅 麻未	大手前大学経営学部講師、当学会理事・国際交流委員
	新免 玲	日本女子体育大学特任准教授、横浜市立大学特任講師、Earth Carrer Lab.代表、当学会理事・国際交流委員長

【企画主旨】

国際交流委員会は、海外からの知識をどのような姿勢で取り込むのか、また、キャリア理論だけではなくカウンセリングそのものもしっかりと取り組むことの必要性などについて発信してきました。最近、海外・異文化／多文化との邂逅から学ぶための準備を進めています。

日本では、キャリア発達モデルが文化や時代の変化や背景により発達してきているなかで、昨今では多様性、包摂性という言葉が多用されるように、多文化を考慮したキャリアやカウンセリングの検討も重視されます。しかし、所謂多文化支援にだけ注目していくと個性は見えてくるものの、社会性についてはどうでしょうか？公平性やソーシャルジャスティスの観点も重要ではないでしょうか。当日は、海外動向の調査研究の第一人者である下村先生とともに参加者の皆様にもご意見を募りつつ、国際交流委員会のクロストーク2を実施します。ぜひご参加ください。

【シンポジスト】



下村 英雄 (しもむら ひでお)

<プロフィール>

筑波大学大学院博士課程心理学研究科修了

博士(心理学)。労働政策研究・研修機構統括研究員。東京成徳大学大学院講師。厚生労働省職業能力開発専門調査員。前日本キャリア教育学会会長。前日本キャリア・カウンセリング学会監事。社会正義のキャリア支援研究会顧問。

キャリア心理学、キャリアカウンセリング論、キャリアコンサルティング及び関連政策に関する研究を専門とし、議論を牽引する。主著に『成人キャリア発達とキャリアガイダンス』(労働政策研究・研修機構、第37回労働関係図書優秀賞受賞)、『社会正義のキャリア支援』(図書文化)、『キャリアコンサルティング理論と実際6訂版』(雇用問題研究会)がある。

【パネリスト】



国重 浩一 (くにしげ こういち)

<プロフィール>

ナラティブ実践協働研究センター所属

1964年、東京都墨田区生まれ。ニュージーランド(NZ)、ワイカト大学カウンセリング大学院修了。日本臨床心理士、NZカウンセラー協会会員。鹿児島県スクールカウンセラー、東日本大震災時の宮城県緊急派遣カウンセラーなどを経て、2013年からNZに移住。同年に移民や難民に対する心理援助を提供するための現地NPO法人ダイバーシティ・カウンセリングNZを立ち上げる。2019年には東京にナラティブ実践協働研究センターの立ち上げに参加。2019年から日本産業カウンセリング学会の理事、2021年から日本キャリア・カウンセリング学会の理事となり、国際交流委員会に所属。2023年9月に拠点をNZから滋賀県大津市に移す。



浅野 衣子 (あさの きぬこ)

<プロフィール>

株式会社キャリア開発サポーターズ代表取締役、キャリア開発カウンセラー(JICD・キャリア開発研究センター認定)、キャリアコンサルタント、認定スーパーバイザー(日本キャリア・カウンセリング学会認定)、ナラティブ実践協働研究センター スタートアップメンバー、地域若者サポートステーション事業専門委員会メンバー

同志社女子大学卒業後、阪急百貨店にて販売・仕入れ担当を経て、従業員の能力開発、顧客満足推進に従事。2001年独立。多様なニーズを持った人々のキャリア支援としてカウンセリングやワークショップを実施。またスーパービジョンなど、対人支援者の支援をライフワークとして取り組んでいる。



三好 真 (みよし まこと)

<プロフィール>

大妻女子大学人間関係学部人間関係学科 講師

全米認定カウンセラー (National Certified Counselor)

米国南イリノイ大学でカウンセラー教育・スーパービジョン学の博士号を取得。在米中、同大学院において、グループワークの概論・実習のインストラクター及びスーパーバイザーとして勤務。帰国後は、スーパービジョン、キャリア教育、臨床心理現場において、グループワークを応用する手法を用いている。



三宅 麻未 (みやけ まみ)

<プロフィール>

博士(商学) 大手前大学 経営学部 講師、国家資格キャリアコンサルタント、米国 CCE Inc. 認定 GCDF-Japan キャリアカウンセラー、当学会理事

慶応義塾大学卒業後、国内化粧品メーカーのマーケターを務める。米国 Hult International Business School, M.B.A. 修了後は外資家電メーカーのブランディングマネージャーや地方創生プロジェクトなど約 10 年にわたり「社会への価値提供」をテーマに多彩な経験を積む。様々な経験の中で、人がイキイキと働ける組織の在り方に関心を持ち始め、30代半ばで会社勤めから心機一転、キャリア開発を専門に研究者の道へ進む。博士(商学)取得後は大学にて経営学の教鞭を執るかたわら、キャリアコンサルタントの国家資格を活用し幅広い世代の相談に応じている。



新免 玲 (しんめん れい)

<プロフィール>

日本女子体育大学特任准教授、横浜市立大学特任講師、Earth Career Lab.代表、国家資格キャリアコンサルタント、キャリアコンサルティング技能士2級、公認心理師、教育工学(修士)、eLP ラーニングデザイナー&マネージャー、当学会理事

アメリカの州立大学卒業後より教育・人材育成現場で職務経験を積み、20年ほど主に大学生や高校生を含めた若年層のキャリアコンサルティングおよび支援業務に携わる。昨年より横浜市立大学の JST 共創の場形成支援プログラム(COI-NEXT)共創分野本格型、産学官連携プロジェクトに参画。最近では、不登校・ひきこもり等特別支援が必要な人に対する医療連携の心理キャリア支援プログラムの開発研究に取り組んでいる。

SCD（セルフ・キャリアドック）導入の壁とその乗り越え方

(敬称略、順不同)

パネリスト	岩田 敏	オフィス☆ポラリス代表
	中村 彰秀	株式会社 JTB グループ本社 人財開発チーム シニアコンサルタント
企画・進行	高橋 浩	ユースキャリア研究所代表

【企画主旨】

2016年以降、厚生労働省が職業能力開発促進法をベースに企業を中心に導入推進が進められている「セルフ・キャリアドック」は、徐々に導入企業数が伸び始めている。比較的に円滑に導入を進めている企業がある一方で、なかなか関係者の理解が得られず導入に壁を感じている企業が多いことも事実である。このような実態に対して、セルフ・キャリアドック普及の第一人者として活躍されている高橋浩先生をはじめ本委員会メンバーは、導入の成功要因と阻害要因を明らかにするプロジェクトを進めている。発足後約半年間の取組みから見えてきた「SCD 導入の要因研究」を踏まえて、委員と皆さんとで導入の壁の乗り越え方について意見交換を行っていく。

【パネリスト】



岩田 敏 (いわた・さとし)

<プロフィール>

オフィス☆ポラリス代表 2級キャリアコンサルティング技能士、
産業カウンセラー、2級ファイナンシャルプランニング技能士

69歳神戸生まれ

富士フィルムに42年間勤務。その大部分を写真の営業に従事し、最後は写真プリント工場の社長を勤める。人事出身ではないキャリアコンサルタント。

58歳からキャリアコンサルティングを学び始め、多くの人たちとの交流を通じて定年後は人の役に立つ仕事をしたいと考え始める。2019年64歳で退職し「働く人の元気を応援する」をモットーにフリーのキャリアコンサルタント・研修講師として独立。

現在、東京キャリア形成・リスキリング支援センターなど企業領域で活動中。また働きがいと成長支援協会でセルフ・キャリアドックの普及に注力している。



中村 彰秀 (なかむら・あきひで)

<プロフィール>

(株) JTB グループ本社 人財開発チーム シニアコンサルタント、

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構 採択審査委員、

国家資格キャリアコンサルタント、2級ファイナンシャル・プランニング技能士 (AFP 認定)

大卒後、株式会社日本交通公社 (現 JTB) に入社し、法人営業、営業本部を経て、海外旅行部門にて方面部長、販売促進部長、CSR 部長を歴任。2017年からグループ本社 人財開発担当部長 (企画統括) となり、人財開発基本方針を策定。社員の能力開発・キャリア開発・組織風土改革を担当。2022年に定年にて退職。継続雇用で引き続き人財開発を担当。

厚生労働省グッドキャリア企業アワード 2020 大賞受賞

第17回 eラーニングアワード キャリアアップ教育特別部門賞受賞

第20回 eラーニングアワード 自律型人材育成特別部門賞受賞

【企画・進行】



高橋 浩（たかはし・ひろし）

<プロフィール>

ユースキャリア研究所 代表 博士（心理学）キャリアコンサルタント 公認心理師。法政大学大学院／目白大学大学院／立正大学 講師。日本キャリア開発協会 理事 1965年青森県生まれ。

弘前大学教育学部卒業後、NEC グループの半導体設計会社に勤務。エンジニア、品質管理、経営企画、キャリアアドバイザーに従事。2011年退職。並行して、1996年から心理学やカウンセリングを学習、2001年CDA、2012年博士号を取得、同年、研究所を開設。現在、個人と組織の適合するためのキャリア支援の実践と研究を行っている。著書『セルフ・キャリアドック入門』、『社会人のための産業・組織心理学』、他多数。

MEMO

研究発表・実践報告・学位研究発表

※ “○”は主たる発表者

11月23日(土)

13:15~14:45 Zoom配信

座長：原 瑞穂(香川大学)

R01	① 学位研究発表 13:15~13:45 職場の well-being 向上のための精神保健福祉士 (MHSW) の専門性 ～産業精神保健分野で活動するエキスパート MHSW のインタビュー調査から～ ○田村 三太
	② 実践報告 13:45~14:15 キャリアコンサルタントによるリワークプログラムの実践報告 ～医療機関における役割を考える～ ○野条 美貴
	③ 研究発表 14:15~14:45 課題解決型キャリア科目受講による学生の変化 ー学年・複数科目履修とキャリア意識の関係ー ○原 瑞穂

15:00-16:30 Zoom配信

座長：片岡 亜紀子(早稲田大学)

R02	① 研究発表 15:00~15:30 ライフイベントと既婚女性のキャリア継続： 配偶者転勤等により勤務地変更した8人へのインタビュー調査より ○川端 由美子
	② 研究発表 15:30~16:00 職業選択志向性タイプによる就職活動の特徴 ○赤城 知里、西村 昭徳、井上 忠典
	③ 実践報告 16:00~16:30 中高生の早期キャリア興味の形成要因ー仮説の構築と検証 ○亀田 修司

15:00～16:30

Zoom配信

座長：湯口 恭子（近畿大学）

R03	① 学位研究発表 15:00～15:30 中小企業の組織内キャリア形成におけるキャリアコンサルティングに関する研究 ーグッドキャリア企業アワード受賞企業の人材育成の取り組みからー ○堀口 恵子
	②研究発表 15:30～16:00 労働組合によるキャリア支援に関する探索的検討 ○原 恵子、清水 康子、依藤 聡、岡田 昌毅
	③実践報告 16:00～16:30 キャリア相談を軸にした労働組合のキャリア自律支援の取組みに関する事例報告 ○清水 康子、竹内 進、麻崎 一哉、本岩 美香、浅野 淳

16:45～18:15

Zoom配信

座長：野田 実希（立命館大学）

R04	① 研究発表 16:45-17:15 発達障がいとされる不登校生徒の心理支援とキャリア支援 ○新免 玲、奥村 紗矢、長内 綾子、小山 秀之
	② 実践報告 17:15-17:45 通信制高校に通う不登校を経験した生徒への心理支援の実践 ○吉田 敏明、新免 玲
	③ 研究発表 17:45-18:15 趣味が仕事に与える影響に関する探索的研究～趣味を持つ社会人に対するヒアリング調査から ○渡部 昌平

11月24日（日）

10:00-11:30

Zoom配信

座長：高橋 浩（ユースキャリア研究所）

R05	① 実践報告 10:00～10:30 セルフ・キャリアドックの導入から 3 年間の取り組み ～実践を通じた企業内キャリアコンサルタントの変化と影響～ ○高山 美穂
	② 学位研究発表 10:30～11:00 在宅勤務環境下における学卒新人の組織社会化を促す要因の研究 ー コロナ禍において在宅勤務を余儀なくされた 2020 年 4 月入社社員を対象とした調査研究ー ○藤井 由香里
	③ 研究発表 11:00～11:30 サーバント型リーダーシップが部下の心の健康を阻害する可能性ー上司のリーダーシップが精神的健康、心理的安全性、職場での強みの発揮やワークエンゲージメントに与える影響ー ○高橋 誠、森本 哲介

10:00~11:30

Zoom配信

座長：原 恵子（埼玉学園大学）

R06	① 学位研究発表 10:00~10:30 認知的方略がキャリア探索及び結果期待に与える影響—大学生のキャリアに着目して— ○酒井 信幸
	② 研究発表 10:30~11:00 専門学校キャリア教育にナラティブ・アプローチを活かす試み ○内原 香織
	③ 研究発表 11:00~11:30 インターンシップへの参加が学生の意識に与える影響 2 単位認定型インターンシップ参加学生に着目して ○山本 和美、萩生田 伸子

12:30-14:00

Zoom配信

座長：石山 恒貴（法政大学）

R07	① 研究発表 12:30~13:00 男性の育児休業に関する不公平感喚起状況尺度の開発 ○尾野 裕美
	② 研究発表 13:00~13:30 障害児の養育体験による新しい父親役割形成のプロセス ○練田 修司
	③ 学位研究発表 13:30~14:00 仕事と介護の両立をする女性のキャリアレジリエンス ○堀川 妹乃、石山 恒貴

12:30~14:00

Zoom配信

座長：中村 准子（筑波大学）

R08	① 実践報告 12:30~13:00 管理職のラインケア意識向上の実践とその効果 ～パルスサーベイとマネジメントコンピテンシーリストを用いたオンライン研修を通して～ ○佐藤 映
	② 研究発表 13:00~13:30 キャリアコンサルタントの成長に関する尺度開発の試み（2） ○五十嵐 敦、藤田 廣志、坂柳 恒夫、田崎 慎子、星野 宏
	③ 研究発表 13:30~14:00 企業理念の浸透度と企業文化醸成のための組織風土が従業員の思考や行動に与える影響の探索的検討 ○須藤 章、原 恵子、植松 健佑、小見山 薫、中村 准子、岡田 昌毅

14:15～15:45

Zoom配信

座長：古田 克利（立命館大学）

R09	① 実践報告 14:15-14:45 自己物語再構成ライティング法の開発とその心理的プロセスについて ○小澤 康司
	② 研究発表 14:45-15:15 スパイラル・ロールプレイングによるリスニング教育モデルの開発 ～キャリアコンサルタントが学ぶ Carl Rogers の Reflection という応答の実践知～ ○相澤 秀一、廣川 進
	③ 研究発表 15:15-15:45 キャリア支援における生成 AI 活用方法の探索的研究 スケーリングカウンセラーとハブスタンスラーニングアドバイザー ○吉川 雅也

14:15～15:45

Zoom配信

座長：尾野 裕美（筑波大学）

R10	① 実践報告 14:15～14:45 働きやすい職場づくりに向けた心理職としての関わりーTOO 活動の紹介 ○久保 真理、西村 昭徳
	② 研究発表 14:45～15:15 シニア社員の継続勤務に対する意欲と不安尺度の検討 ○柘植 英水、中村 准子、原 恵子、永野 惣一、堀内 泰利、須藤 章、竹内 雅巳、相田 典子、松井 豊、岡田 昌毅
	③ 研究発表 15:15～15:45 中途採用者の組織再適応に関する探索的検討 ○中村 准子、尾野 裕美、原 恵子、柘植 英水、永野 惣一、石山 和裕、井村 佳穂、岡田 昌毅

●11月23日(土) 13:15~14:45

Zoom配信

S01	教員の離職者をゼロにした支援者と現場のリスクリング ～共に深める自己理解・他者理解～
------------	---

安村 明史、浜辺 秀雄、加賀城 剛史、田中 道博、茂木 聡

■テーマ説明

奈良市の公立中学校で行った支援によって教員の離職者がゼロになった事例を踏まえて支援者と現場のリスクリングを推奨する内容

■シンポジウム概要

- 支援成功事例紹介と各専門家からの意見
- リスクリングの内容
- 内容（特に多様性から個別へ）についての意見交換
- ポイント：支援者の上から目線ではなく、支援者と現場が共に自己理解と他者理解を深めて行く相互作用による現場のエンゲージメント効果

「この支援の中で、多くの自己理解、他者理解の相互作用（互いに気づいていく）の結果、現場の離職がゼロに出来た」

- 支援者は収益化向上のために、個から組織に意識を変え、採用力向上・離職防止など組織問題解決に取り組む必要がある
- 支援者は企業からの受諾を受け、納品力を高めるために自己理解、他者理解をリスクリングすることは有効である

■発表内容と登壇者

▼中学校の状況変化の説明

浜辺 秀雄氏（奈良市立中学校校長）

▼組織課題解決原理：個別の「自己理解」「他者理解」

安村 明史（企画者・(一社)人材開発協会代表理事）

▼組織支援のためにキャリアコンサルタントが学ぶ余地のあること(例)

田中 道博氏（キャリアコンサルタント・(株)あしあとみらい研究所代表取締役）

▼経営コンサルタントとして現代のHR支援に関する考察

加賀城 剛史氏（経営コンサルタント・中小企業診断士）

▼エンアグラムコーチングのシステム化（生成AIの活用）

茂木 聡氏（IT開発者・(株)オクトライズ代表取締役）

自主シンポジウム 2

●11月23日(土) 15:00~16:30

Zoom配信

S02	キャリアの民俗学 “名もなき社会の要たち” Part2: PAC分析に基づく「展望」の検討
------------	--

田中 雅美、新免 玲、奥田 道生、長野 晋、福良 浩一、杉山 崇

いつの時代も華々しく社会をリードする方々が注目されがちです。しかし、真の社会の要は、多くの注目されない人々ではないでしょうか。昨年に引き続き、このシンポジウムでは、このような“名もなき社会の要たち”に焦点を当てた研究への試みを議論することを目的としています。今回は、ミドルシニアの将来展望にフォーカスしたいと考えています。C.ユングは、S.フロイトが過去に縛られた人間に注目するのに反して、人間とは未来に導かれる人間であるという側面を考察しました。近年の脳の研究でも、未来の展望こそが人間の心と脳の特徴であり、展望に関わる脳の活性化はあらゆる痛みの緩和を促すことが明らかになっています。人にとって本当に大切なものの一つは、展望であることが示唆されています。本シンポジウムでは、ミドルシニアの展望の実態を明らかにしていきます。ミドルシニアのここにはどのような展望が必要なのか、逆に、ミドルシニアはどのような展望に苦しむのか現代的に明らかにすることを目指します。当日はPAC分析という方法論で得られたエビデンスを基に、このテーマを検討します。

シンポジスト氏名・所属・プロフィール

1. 企画者・司会者：新免玲（Earth Career Lab&日本女子体育大学&横浜市立大学）
当学会理事・国際交流委員長、2級キャリア・コンサルティング技能士、公認心理師。
2. 企画者・シンポジスト：田中雅美(心理マネジメント研究所主任研究員)
当学会社員、国家資格キャリアコンサルタント、産業カウンセラー。
3. シンポジスト：奥田道生（神奈川大学人間科学部研究員）
当学会会員、国家資格キャリアコンサルタント、EAPメンタルヘルスカウンセラー。
4. シンポジスト：長野晋(SMBCコンサルティング株式会社)
当学会社員、国家資格キャリアコンサルタント。
5. シンポジスト：福良浩一（SMBCラーニングサポート株式会社）
国家資格キャリアコンサルタント。大学卒業後、32年間の銀行勤務を経て、現在は研修業務に従事。
6. 指定討論者：杉山崇(神奈川大学&心理マネジメント研究所代表)
神奈川大学人間科学部教授、1級キャリア・コンサルティング技能士、臨床心理士、当学会前副会長。日本にカウンセリング心理学を導入した心理学者の一人（故村瀬孝雄：元東京大学・学習院大学教授）に師事し、30年の相談歴・研究歴の中で多くの事例とSVを担当。神経科学（いわゆる脳科学）に根ざした新しい理論や技法の研究・開発も行う。

自主シンポジウム 3

●11月23日(土) 16:45~18:15

Zoom配信

S03

SEのうつ病予防のための認知行動カウンセリング

福井 至、栗竹 慎太郎、深谷 行弘、寺田 圭彦、吉田 泰士

1. SEのメンタルヘルス研究会のこれまでの研究活動について
(有)CBカウンセリング サービス 栗竹慎太郎
2. SEのメンタルヘルスワークブックに基づくiCBTをメールカウンセリングに組み合わせたシステムのうつ病予防効果の検証
東京家政大学 福井 至
3. SEの現在の労働環境に関するヒアリング調査
BIPROGY株式会社 吉田泰士
4. SEのメンタルヘルスに関する認知行動モデルの再構築
東京家政大学大学院 深谷行弘
5. 指定討論
株式会社チノー 寺田圭彦

本シンポジウムは本学会23回大会の「SE向けメールカウンセリングシステムの開発と効果の検証」に続くものである。まず、SEのメンタルヘルスの維持向上に関する研究の必要性和将来展望について熊野が説明する。続いて、栗竹が中心となって2006年ごろからSEのメンタルヘルス研究会が活動を始め、2009年にシステムエンジニアのメンタルヘルスに関する認知行動モデルの構築に成功し、2010年には「メンタルヘルスワークブックSE編」を出版した。これらの研究経過について栗竹が説明する。これらの研究を発展させて、「システム・エンジニアのためのiCBTをメールカウンセリングに組み合わせたCCBTシステムのうつ病予防効果の検証」(福井・熊野・梅景, 2024)の論文を発表した。この内容について、福井が発表する。ところで、「SEのメンタルヘルスワークブック」の元となる研究を実施してからすでに15年が経過しており、SEの働く環境も変化してきた。また以前の研究では大手のIT企業の従業員のみを調査協力者としたため、中小企業に勤めるSEの実態にはそぐわない内容がある。そのため、今回大手企業に偏らない形で、12名のSEの方からそれぞれ1時間ずつ、SEのストレスについてヒアリング調査に協力していただいた。この結果について吉田が発表する。そして、これらのヒアリングに基づき、SEの自動思考とスキーマの質問項目を作成し、約1000名のSEへの質問紙調査を実施した。その結果、新たな認知行動モデルが構築できた。この結果について、深谷が発表する。

自主シンポジウム 4

●11月23日(土) 16:45~18:15

Zoom配信

S04	誰かを支援する人を支援することの探究～「教育」「EAP」「福祉」「企業」の各現場より～
------------	--

猿渡 英代子、田村 三太、中川 洋、秋橋 仁美

【登壇者】

- (教育) 猿渡 英代子 東北工業大学 経営コミュニケーション学科 客員研究員
(EAP) 田村 三太 一般社団法人 MHC リサーチ&コンサルティング
(福祉) 中川 洋 フリーランスソーシャルワーカー
(企業) 秋橋 仁美 フリーランス (元 IT 企業人事)

【概要】

<教育分野>

学生の多様なニーズに対応するために、専門職をはじめ教職員による連携が行われている。異なる専門分野の教職員らが情報を共有し、目標を設定する。そして、支援の過程の中で個人のレジリエンスだけが高いたくだけでなく、チームのレジリエンスを高めていくにはどうしたら良いか考察する。

<EAP>

EAP (Employee Assistance Program : 従業員支援プログラム) とは、職場の生産性向上を目的とし、従業員の仕事のパフォーマンスの問題を取り扱い、働く“個人”と職場“組織”に介入し、職場の well-being 向上をサポートする支援プログラムである。EAP の紹介と EAP 分野における専門家育成に関して発表する。国際 EAP コンサルタント (CEAP-International) 養成のメンター活動を通じた支援や EAP コンサルタント (国際 EAP 協会日本支部認定資格) 養成支援に関して考察する。

<福祉分野>

福祉の現場では、「直接支援業務」が多く、利用者と密接な関わりが多いため、支援者の中には自己犠牲の精神で働いたり、感情労働や過剰な自己責任感により心理的な負担が大きくなったりする傾向も見られ、バーンアウトや心理的な疲労に陥りやすいことがある。支援者が精神的に健康であり、かつ経済面の豊かさや生活の余裕を持つことは、質の高い支援を提供する上で非常に重要であり、福祉現場における支援者支援の重要性と、その具体的なアプローチについて探る。

<企業>

企業人事の視点から、企業内での支援者＝管理職と置いたうえで、社員の多様化に伴うマネジメントの負荷増に対する管理職支援の在り方について考察を行う。具体的にはダイバーシティマネジメントへの理解を深め、具体的な対応方法についてのインプットを行うほか、社内外の人材を活用した 1on1 を通じて対象者の成長をどう支援していくかについて探るとともに、社員自身がキャリア自律をめざして主体的に行動するための支援方法についても考える。

【タイムテーブル】

- ①企画の背景 (10分)
- ②教育、EAP、福祉、企業の各分野における活動紹介 (各 15分)
- ③パネルディスカッション (20分)

自主シンポジウム 5

●11月24日(日) 10:00~11:30

Zoom配信

S05

企業内キャリアコンサルティングを効果的に導入・実施するために

渡部 昌平、仲田 衣美香、青木 健、九鬼 邦光、新目 真紀

企画者・パネリスト：渡部 昌平（秋田県立大学）

新目 真紀（職業能力開発大学校）

パネリスト：仲田 衣美香（タジマ工業株式会社）

青木 健（株式会社アピリカ）

九鬼 邦光（企業内キャリアコンサルタント）

（概要）

従業員のキャリア形成支援、早期離職防止などの観点からキャリアコンサルティングを行うしくみを導入している事業所は増えてはいるが（令和5年度能力開発基本調査では正社員に導入している事業所41.6%、正社員以外に導入している事業所24.7%）、ここ数年は伸びが停滞している。事業所がキャリアコンサルティングを行う目的は「労働者の仕事に対する意識を高め、職場の活性化を図るため」「労働者の自己啓発を促すため」が大きく、効果として「労働者の仕事への意欲が高まった」「自己啓発する労働者が増えた」などが挙げられているが、一方で問題として「労働者からのキャリアに関する相談件数が少ない」「キャリアに関する相談を行っても、その効果が見えにくい」などが挙げられている。また未導入事業所からは「労働者からの希望がない」「キャリアコンサルタント等相談を受けることのできる人材を内部で育成することが難しい」「キャリアコンサルタント等のサービスを外部から調達するのにコストがかかる」等の理由が挙げられている。

そこで本自主シンポジウムではパネリストに企業担当者・研究者を迎え、事業所・従業員あるいはキャリアコンサルタントそれぞれの視点から「キャリアコンサルティング制度をどのように設計・導入してきたか」「どういった課題があり、どう乗り越えてきたか」「どうすれば効果的な企業内キャリアコンサルティングが行えるか」等について、情報・意見交換をしていきたい。

自主シンポジウム 6

●11月24日(日) 12:30~14:00

Zoom配信

S06	障害のある人たちへのキャリア形成支援 ー求められる専門性とはー
------------	--

松為 信雄、宇野 京子、湯田 麻子、下村 英雄

(話題提供)宇野京子 1) 湯田麻子 1) (指定討論) 下村英雄 2) 松為信雄 1)3)

- 1) 一般社団法人職業リハビリテーション協会
- 2) 独立行政法人 労働政策研究・研修機構 職業構造・職業指導部門 統括研究員
- 3) 東京通信大学教授、神奈川県立保健福祉大学 名誉教授

KEY WORDS: 職業リハビリテーション 障害者 メンタルヘルス

近年、多様性が尊重される社会において、障害や生きづらさを抱えた人々、多様なバックグラウンドを持つ人々からのカウンセリングニーズが高まっている。2030年に向けて、キャリアカウンセリングはあまねく人々のキャリア形成支援に向けた進化が求められている。松為は、支援を行うリハビリテーションのカウンセラーの機能を、カウンセリング(Counseling)、調整(Coordinating)、相談(Consulting)、ケースマネジメント(Case management)、論評・評価(Critique)の「5つのC」として表現している。この「5C」による支援・介入が基本であり、共通認識を深めることが不可欠であると述べている。本自主シンポジウムでは、急速に進む社会変容の中で、発達障害などの認知に特性のある人々のキャリアカウンセリングに従事したいと願う専門家が身につけておきたい知識とキャリア形成の支援について追求することを目指す。

話題提供者の宇野は、近年増加している発達障害児者の支援に関心を持つキャリアコンサルタント向けに行った研修会後に行った「習得したい知識」のニーズ調査結果を報告する。湯田からは、実践知としてメンタル疾患があり、且つ明確な障害診断はない場合の安定就労に向けた取り組みに触れて、関係者の協力関係を構築するためのカウンセリング方法、現場での押しどころと引きどころを紹介する。

指定討論者の下村から、キャリア開発、キャリア教育及び関連政策に関する研究を専門する立場から、専門職として新たな分野で活躍するための学び方について議論を牽引して頂く予定である。さらに、松為はキャリア論をベースに、雇用就労支援の基盤となる職業リハビリテーション学の重要性を提唱している。障害や生きづらさを抱える人々のキャリア発達の視点から、「ウェルビーイング」を維持しながら働き続けるための環境や、社会でより良く生きるための支援がどのようなべきかを提言する。

第29回大会 後援団体機関ご芳名

厚生労働省
山梨県
山梨労働局
独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
独立行政法人労働者健康安全機構
独立行政法人労働政策研究・研修機構
公益財団法人関西生産性本部
公益社団法人全国労働基準関係団体連合会
公益社団法人日本公認心理師協会
公益財団法人日本生産性本部
公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会
一般社団法人公認心理師の会
一般社団法人日本カウンセリング学会
一般社団法人日本経済団体連合会
一般社団法人日本産業カウンセラー協会
一般社団法人日本心理臨床学会
一般社団法人日本臨床心理士会
特定非営利活動法人キャリアカウンセリング協会
特定非営利活動法人キャリアコンサルティング協議会
中央職業能力開発協会
中央労働災害防止協会
日本学生相談学会
日本キャリア教育学会
日本産業ストレス学会

本大会を開催するにあたりまして、上記の諸団体様より多大なご支援を受け賜りました。

ここに芳名を記し、厚く御礼を申し上げます。

2024年11月吉日

一般社団法人日本キャリア・カウンセリング学会

第29回大会委員長 山本 和美

小倉 浩靖

第29回大会 協賛団体ご芳名

一般財団法人 ACCN
一般財団法人コミュニケーション開発機構
一般社団法人オトナ思春期をデザインするプロジェクト
一般社団法人がんと働く応援団
一般社団法人長野県キャリアコンサルタント協会
特定非営利活動法人キャリアカウンセリング協会
特定非営利活動法人ソサエティ・オブ・キャリアコンサルタント
特定非営利活動法人やまなしキャリアデザイン・ラボ
特定非営利活動法人山梨県キャリアコンサルティング協会
特定非営利活動法人ライフキャリア総合研究所
株式会社オフィス渡喜
株式会社カナマル
株式会社キャリア・ストラテジー
株式会社金剛出版
株式会社実務教育出版
株式会社スマイルボイス
株式会社東京リーガルマインド
株式会社日本マンパワー
株式会社はくばく
株式会社ミラプロ
山梨県大学就職指導研究会
ラッセル ウェルビーイング コーチング カレッジ

本大会を開催するにあたりまして、上記の諸団体様より多大なご支援を受け賜りました。
ここに芳名を記し、厚く御礼を申し上げます。

2024年11月吉日
一般社団法人日本キャリア・カウンセリング学会
第29回大会委員長 山本 和美
小倉 浩靖

第29回大会 寄付協賛団体ご芳名

特定非営利活動法人日本キャリア開発協会

本大会を開催するにあたりまして、上記の諸団体様より多大なご支援を受け賜りました。
ここに芳名を記し、厚く御礼を申し上げます。

2024年11月吉日
一般社団法人日本キャリア・カウンセリング学会
第29回大会委員長 山本 和美
小倉 浩靖

あなたのキャリアに 新たな可能性を

ウェルビーイング
メンタル講師
養成プログラム



楽しく貢献

クライアントはもちろん、ご自身の自己肯定感も上がり、ウェルビーイングが向上していきます。人や社会へ、楽しく貢献できる最新のプログラムが学べます。

スキルアップ

コーチ・コンサルとしてのスキルを向上するとともに、講師としての講義の教え方やワークの進め方など、最新のスキルを身につけることができます。

収入アップ

1on1セッションや複数人への講座開催など、広範囲なアプローチが可能に。また、講師活動の収入が得られる収益構造と活動のサポートも得られます。



ウェルビーイングメンタル講師 養成プログラムで すべてが手に入ります！

ウェルビーイングとは？

ウェルビーイング (Well-being) は、1946年に世界保健機関 (WHO) が「健康とは、病気でないだけでなく、身体的・精神的・社会的に満たされた状態」と定義した際に登場しました。ウェルビーイングへの取り組みは、心と体の健康を保ちながらキャリアを充実させ、個人や組織の成長を促進する、と国や自治体、企業、教育機関等で、今注目されています。

どんなプログラムなの？

説明会開催中！

キャリアコンサルティングは「自分らしさ」を見つけ人生をデザインする力を養う、いわばウェルビーイングに直結した重要なお仕事。キャリアとウェルビーイングを両立し、加速させるための一歩を踏み出しませんか？





研究活動

2040年の「働く」を考える

プロジェクト

2040年に向けて
「働く」がどのように変化していくか。
よりよい未来のために
キャリアコンサルタントにできることは何か。

2040 働く



スーパービジョン



▶ CCAのスーパービジョンを受けてみませんか？

キャリアコンサルタント一人ひとりのレベルに合わせたマンツーマン指導を受けられます。法人様向けにはカスタマイズの事例検討会も行っています。まずはお気軽にご相談ください。

▶ 【CCA】スーパーバイザー養成・認定プログラム

キャリアカウンセラー・キャリアコンサルタントの指導者を養成する本プログラムは、厚生労働省委託事業のスーパーバイザー試行養成講習にも選ばれました。2025年春開講予定。

指導者養成



▶ CCAの更新講習は業界最大の45講座

キャリアコンサルタント専門機関ならではの豊富なメニューから選べる技能講習。面接技能、メンタルヘルス、障害者・中高年支援、組織開発、キャリア教育など。12月開講分まで申込受付中。

国家資格キャリアコンサルタント更新講習・GDCF-Japan 継続学習
CCAのキャリアコンサルタント学習情報

キャリアコンサルタント更新講習 スーパーバイザー養成 試験・対策 セミナー・動画配信 ツール購入

進学・オンライン 技能講習

業界最大級の44講習
幅広いラインナップ

- ・カウンセリング技能
- ・働く人のメンタルヘルス
- ・障害者・中高年支援
- ・組織開発
- ・セルフ・キャリアドック活用
- ・キャリア教育

eラーニング 知識講習

講師陣は第一線の専門家
キャリアコンサルタント知識講習の決定版！

産業貿易大学
准教授
花田 光景

メンタルサポート・セルフキャリアセンター
代表
大塚 まよ

リサーチ・フロンティア研究所
主任研究員
藤田 義博

お知らせ

2024.04.01	キャリアコンサルタント更新講習に新たに4講座指定されました	
2024.08.27	【オンライン・遠学(東京)】9月-10月-11月-12月開催キャリアコン更新講習(技能)申込受付中！	一覧を見る
2024.08.19	【12月開講】大学生の就労活動支援実践(個社研究・内定獲得)の申込を受け付けています	

特定非営利活動法人キャリアカウンセリング協会
東京都港区新橋1-16-4 りそな新橋ビル4階 TEL. 03-3591-3569

CCA 学習情報

人生100年時代

働く人の 自律的キャリア形成を支援する

人生100年時代と言われます。働き方や生き方が多様化するなか、政府は「人生100年時代構想会議」等を発足させ、「従業員のキャリア自律と多様な学ぶ機会の整備」が政策キーワードとなっています。日本マンパワーは「キャリア開発」「人材開発」のバイオニアとして、これからも「イキイキ働く人がふえれば社会はかわる」を事業コンセプトに個人・組織・社会の諸課題を総合的に解決するサービスを提供してまいります。

日本マンパワーのサービス領域

キャリア開発

自律型人材を育成するためのキャリア開発・教育研修サービス

組織開発

自律型人材が組織の活性化に最大限貢献するための組織開発サービス

制度構築

自律型人材を育成するための人事・研修制度構築のコンサルティングサービス

国家資格キャリアコンサルタントの養成

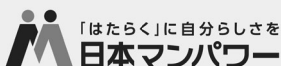
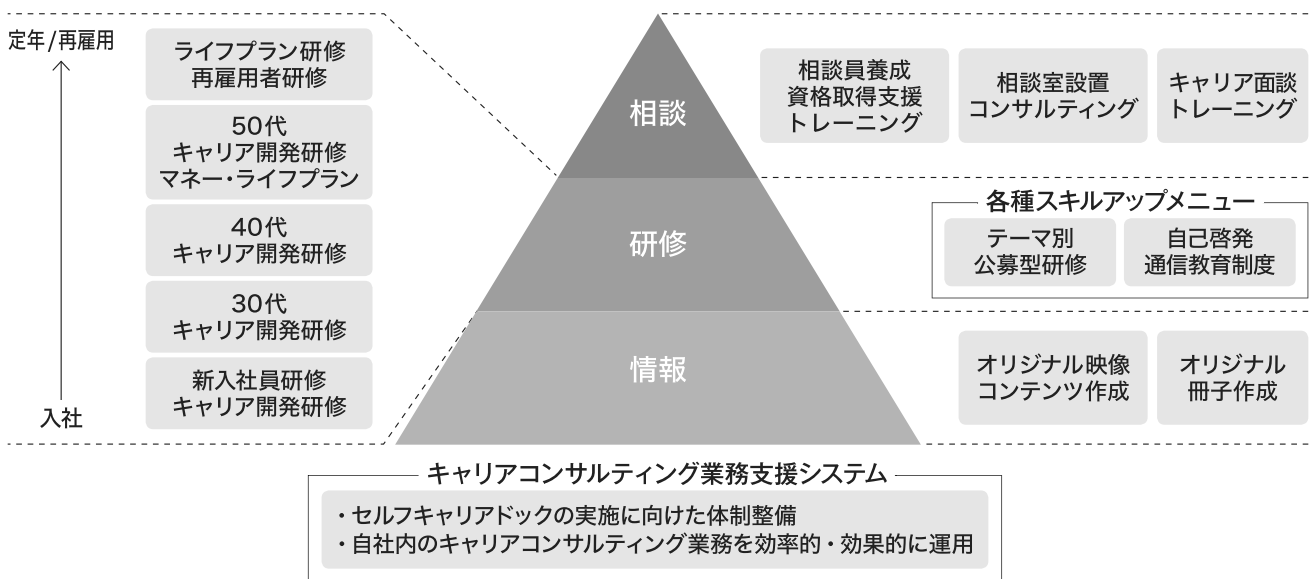
上記施策を支えるキャリア形成支援の専門家としての資格取得を支援。厚生労働大臣認定講習「キャリアコンサルタント養成講座（総合）～CDA資格対応～」を全国・オンラインで開講。

更新講習

厚生労働大臣指定のキャリアコンサルタント更新講習を実施。更なるスキルアップをサポート

日本マンパワーが考える企業内キャリア開発支援の全体像

年代別のキャリア開発研修と、相談機能の設置、情報提供で自律的キャリア開発をトータルにサポートします。



本社/東京都千代田区神田東松下町 47-1

日本マンパワー

検索

<http://www.nipponmanpower.co.jp>

<企業内キャリア開発支援についてのお問い合わせ・資料請求>

札幌 TEL 011-221-0377 東北 TEL 022-221-7991 東京 TEL 03-5294-5070 中部 TEL 052-218-4122
北陸 TEL 076-422-1223 関西 TEL 06-6266-3355 中四国 TEL 082-249-0945 九州 TEL 092-710-7642
(平日 9:00～17:30 土・日・祝休み)

<キャリアコンサルタント資格取得についてのお問い合わせ・資料請求>

CDA 事務局 TEL 03-5294-5030
(10:30～16:30 月・木・祝日を除く)

40th
anniversary
since 1984

まっつてて、
未来。

次世代のエネルギー開発で
最先端のAI技術で
半導体業界を支えるものづくりで
ミラプロの技術は
産業界の様々なイノベーションに
貢献しています。

Don't stop challenging

MPC 株式会社 **ミラプロ**
MIRAPRO CO., LTD.

本社所在地 / 〒408-0111 山梨県北杜市須玉町穴平 1100 番地
設 立 / 1984(昭和59)年6月30日

国内拠点 最先端生産技術センター / ミラプロエナジーラボ / 山梨工場 / 若草第一工場 / 若草第二工場
四国工場 / 東北工場 / 仙台営業所 / つくば事務所 / ミラプロイノベーションセンター / 京都営業所 / 福岡サービスセンター

海外拠点 ミラプロ USA / 上海ミラプロ / ミラプロシンガポール / ミラプロインド / ミラプロモンゴル / ミラプロ韓国 / ミラプロタイランド
ミラプロトルコ / 台湾事務所 / ミラプロヨーロッパ (ドイツ)





一般社団法人

がんと働く応援団



がんと働く応援団の両立支援者養成プログラムで、
がん治療と仕事の両立相談にのれるようになろう！



がんから始める
◆両立支援セミナー

基本のがん知識講習に、少人数での代表ロープレまたは事例検討ワークがついて、両立支援が「わかる」の一步をサポート！

がんから始める
◆両立支援講習会

充実の事前e-Learning学習と、1級キャリアコンサルティング技能士のロープレ指導で、両立支援「できる」の一步を強力サポート！

がん治療と仕事相談で
◆対話力を磨くシリーズ
事例検討ワーク
相互ロープレ
構造理解ロープレ
◆事例検討会
◆スーパービジョン

見立て、ロープレ、構造理解。
知識と理解を携えて、実際場面の対話力を磨く
実践力強化シリーズできました！
1級キャリアコンサルティング技能士による事例検討会、スーパービジョンも。
両立支援者の研鑽の場であなたの「のばす」を
継続サポート！



がん防災マニュアル
PDFプレゼント



登録して
メールで
情報受取！

SOCC

Society of Career Consultant

人をつなぎ、キャリアをつなぐ

～SOCCが大切にしていること～

1. キャリアコンサルタントとしての資質（力量）向上機会の提供

- ・少人数傾聴トレーニング（面談スキル研修）
- ・ピアトレーニング（ロールプレイ練習）
- ・1級技能士による個別スーパービジョン
- ・1級&2級技能士によるカウンセリング機会

2. キャリアコンサルタントとしての実践機会の創出と提供

- ・企業でのキャリアコンサルティング業務
- ・就労支援施設でのキャリアコンサルタント常駐業務
- ・専門学校、高校でのキャリア教育、キャリアコンサルティング業務

3. 会員同士のネットワーク作りのご支援

- ・無料オンラインセミナーを毎月開催（各領域の専門家、研究者、実務者等が講師として登壇）
- ・会員同士のオンライン対話会（自由参加）を毎月開催

★会員募集中！（入会費0円、正会員年会費10,000円、賛助会員年会費3,000円）

特定非営利活動法人

ソサエティ・オブ・キャリアコンサルタント

〒252-0806 神奈川県藤沢市土棚 786

TEL：0466-47-7040 URL：<https://nposocc.com/>



令和6年度

国家資格キャリアコンサルタント更新講習スケジュール/ やまなしキャリアデザイン・ラボ技能講習 [厚生労働大臣指定講習]

オンライン
と会場
同時開催

令和7年

1.18 (土) 9:30-16:30【6時間】

講習名：キャリアコンサルティングを高める事例検討・企業領域編
目的：企業でのコンサルティング事例からクライアント支援に役立つ
知識を身に付ける

講師 石黒 仁

未来と翼合同会社代表社員
シニア産業カウンセラー
2級キャリアコンサルティング技能士
寛容と連携の日本動機づけ面接学会理事



令和6年開催実績
(当団体は2020年から開催)

2024.5.25
カウンセリングとグループアプローチの
技能と実践力を高める講習

2024.7.20
キャリアコンサルティング力を高める事例
検討・学生領域編

2024.9.16
キャリアコンサルティングにおける自己
理解と実践力を高める講習

2024.11.16
マルチステージにおけるポジティブ心理
学を活用したキャリアコンサルティング

令和7年度も定期
開催予定

日程が決まり次第
HPに掲載します



講習申し込み方法

下記のQRコード又はURLのフォームに必要事項を入力の上お申込みください

[www.https://y-cdl.com/signup.html](https://y-cdl.com/signup.html)



【受講料】一般：16,000円 / 会員：10,000円 (非課税)

【定員】各講習：20名 (最小催行人数：10名)

【会場】山梨県中巨摩郡昭和町河西1232-1

賛助会員募集中

やまなしキャリアデザイン・ラボでは賛助会員の入会を募集しています

【入会費】2,000円 / 【年会費】3,000円

当団体で主催する講習・講座を会員料金でお安く
受講できる特典つき！
お気軽にお申込みください。

詳細はHPをご覧ください。

やまなし
キャリア
デザイン・ラボ
YAMANASHI CAREER DESIGN LAB

特定非営利活動法人 やまなしキャリアデザイン・ラボ

〒409-3851 山梨県中巨摩郡昭和町河西1232-1 TEL：055-267-9003 / FAX：055-267-9004

🔍 y-cdl.com ✕

自分の「キャリア=生き方」を考える時間はどのくらいあるでしょうか？

私たち NPO 法人ライフキャリア総合研究所は、

「生きる力を支援する」をテーマにキャリアコンサルタントとして、

クライアントと向き合うために研鑽を積むための仲間づくり、学びの場を提供しています。

一人でも多くの方が、自分の「キャリア=生き方」を整理し、

生きる力（エンパワーメント）を育み、「自分らしさ」を大切にしながら、

ライフキャリアを描き生きられるように支援しています。



研究員募集中



NPO法人
ライフキャリア総合研究所
「生きる力」を支援する

お問い合わせ先：Email: jimu-kyoku@life-career.or.jp

公式 HP： <https://www.life-career.or.jp/>



はたらくみんなのニューロダイバーシティ

ダイアローグ 対話からはじまる「発達特性」あふれる組織改革論

志岐靖彦 著



一緒にはたらくみんなですみんなのニューロダイバーシティ(脳の多様性)について理解し、組織や職場のパフォーマンスをあげよう。

A5判 並製 192頁 定価2,970円

ココロブルーに効く話

精神科医が出会った30のストーリー

小山文彦 著



さまざまなキッカケでもつれてしまった「ブルーな気持ち」を、うつろう季節とともに精神科医がときほくしてゆく30の物語。

四六判 並製 256頁 定価2,970円

子育て中の臨床心理士が書いた産後ママの「ココロ」に向きあう本

なんとか毎日を乗り切るための認知行動療法

松本智子, 中島美鈴 著
大原由軌子 絵



子育てはうまくいかないことばかり! 毎日戸惑い、悩み、壁にぶつかりながら、必死に子育てをがんばっているあなたへ贈る一冊。

B5判 並製 136頁 定価2,640円

キャリア・カウンセリング エッセンシャルズ 400



日本キャリア・カウンセリング学会 著

廣川進, 下村英雄, 杉山崇, 小玉一樹, 松尾智晶, 古田克利 編

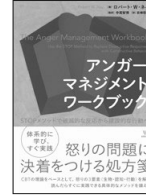
日本初 キャリア・カウンセリングの総合辞典! キャリアコンサルティングに必要な分野のキーワードを網羅した403項目を掲載!

A5判 上製 456頁 定価6,050円

アンガーマネジメント・ワークブック

STOPメソッドで破滅的な反応から建設的な行動へ

ロバート・W・ネイ 著
中尾智博 監訳



怒りに関する科学的な知見とSTOPメソッドのワークで、学習内容を行動の変化として持続させる、アンガーマネジメントの包括的ガイド。

B5判 並製 300頁 定価3,850円

ASDとカモフラージュ

CAT-Qからわかること

ハンナ・ルイズ・ベルチャー 著
藤川洋子, 三好智子 訳



本邦初訳のCAT-Q(自閉症特性カモフラージュ尺度)を手がかりに、偽りの自分を解放し、精神的な安定を手に入れるための本。

A5判 並製 168頁 定価3,520円

Ψ 金剛出版

〒112-0005 東京都文京区水道1-5-16
Tel .03-3815-6661 Fax.03-3818-6848

<https://www.kongoshuppan.co.jp/>
*価格は税込表示(10%)です。

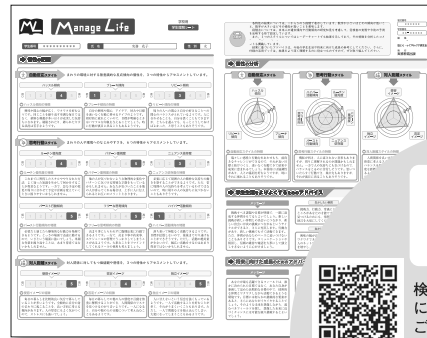
《大学・短期大学・専門学校用検査》

学生の「適応」と「成長」を支援するアセスメント



編 脳と心・ライフキャリア研究会 実施時間 30分(用紙の配布等を含む)
対象 大学生・短期大学生・専門学校生 受験料 1,600円(税込)

学生のメンタルヘルスや個性の把握、「適応」と「成長」に向けた支援に役立つ心理検査です。学生一人ひとりの有意義な学生生活とキャリア形成を導くためのツールとして最適。



検査内容や活用方法について、こちらからご覧いただけます。

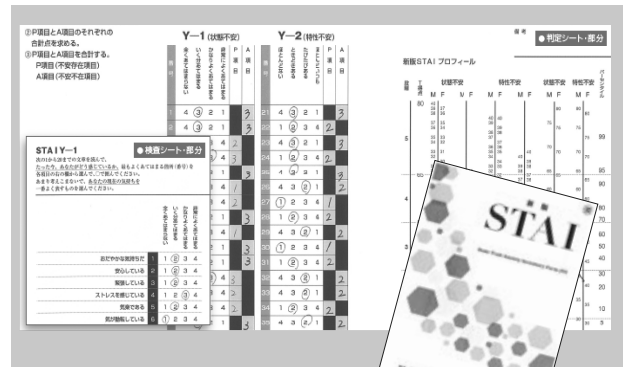
《個別検査(成人用/学生用)》

新版 STAI 状態-特性不安検査

State-Trait Anxiety Inventory-Form JYZ

著者/肥田直野、福原真知子、岩脇三良、曾我祥子、Charles D.Spielberger
B5判/複写式・自己採点方式 1セット50部/定価 10,500円(税込)

スピルバーガー教授と共同研究で「STAI-Y」を日本語版に改良した不安測定質問紙の最新版。2021年10月に現代の成人データで再標準化を行い、判定基準を一新しました。これに伴い、検査の解説書である『新版STAIマニュアル』(別売・定価1,100円(税込))も、再標準化したデータを掲載するとともに、より読みやすくなるようデザイン面も改良。臨床・研究にお役立てください。



※受験料・定価は2024年11月現在。

実務教育出版

〒163-8671 東京都新宿区新宿 1-1-12

www.jitsumu-kyouzai.com/
TEL. 03-3355-1801 (教育教材事業部)

「キャリアコンサルタント」と かけ合わせる「強み」を増やし 活躍の場を広げてみませんか？



更新講習

LECの更新講習は支援現場の「リアル」を反映！
公共（厚生労働省・自治体等からの委託）事業
での実績、経験豊富なLECならではの講座を開講！



1・2級技能検定 対策講座

オンライン（Zoom）で全国対応可能。
個別ロールプレイ指導もあり！



Wライセンス・ トリプルライセンス

FP・社会保険労務士・中小企業診断士・
社会福祉士などLECには「かけ合わせ」で
活躍の場が広がる資格の講座が多数あります！



成長を喜びに



LECは、

学ぶ

資格を通じた
スキルアップ

働く

ライフ
キャリア

を一貫してサポート
している会社です。

LEC 東京リーガルマインド
www.lec-jp.com

日本キャリア・カウンセリング学会

＼入会のご案内／

サービス（個人会員様）

学会誌の配布やメールニュースの配信／研究論文の投稿や大会での発表／学会が主催する養成講座や研修会への会員価格での参加／委員会への加入／総会への参加／大会スタッフ等のボランティア活動への参加。

入会方法

学会オフィシャルサイトの入会方法を確認のうえ、指定のフォームよりお申込み下さい。



学会の歩き方

より詳しくお知りになりたい方は「日本キャリア・カウンセリング学会の歩き方」がお薦めです。



個人会員の入会には、原則として役員1名あるいは正会員2名の推薦が必要となります。お知り合いに推薦者がいらっしゃらない場合は、スタッフまで、お気軽にお声がけ下さい。



JACC 日本キャリア・カウンセリング学会
Source: Association of Career Counseling

<https://jacc.or.jp/>

一般社団法人日本キャリア・カウンセリング学会 第29回大会

2024年 11月20日 初版
12月5日 第2版

大会委員長：山本 和美（山梨大学）
大会委員長：小倉 浩靖（PLAYWORK LAB, Inc.）
大会副委員長：吉川 雅也（関西外国語大学）
大会事務局長：藤田 るり子（株式会社富士通ラーニングメディア）
大会技術担当：大野 亮一郎（清泉女子大学）
大会会場担当：原 哲也（原哲也事務所）
大会パートナー：竹中 裕晃（TAKE3）
大会実行委員（50音順）：安藤 沙織（新宿しろくまカウンセリング）／磯貝 和子（株式会社SEMILLA）／坂井 真奈美（ブルデンシャル生命保険株式会社）／長久保 逸郎（NPO法人ソサエティ・オブ・キャリアコンサルタント）／中野 愛子（&Aco.）／中村 准子（筑波大学働く人への心理支援開発研究センター）／馬場 洋介（帝京平成大学）／原 恵子（埼玉学園大学）／坂東 功規（人生旅行研究所（個人事業主））／松村 賢子（山梨大学）／村木 理乃（共立女子大学・共立女子短期大学）



大会特設サイト <https://jacc-conf.info/29th/>
大会チケット予約 <https://jacc.conf.it.atlas.jp/login>
本大会のお問合わせ e-mail: conference-29th@jacc.or.jp
大会以外のお問合わせ

一般社団法人日本キャリア・カウンセリング学会（旧・日本産業カウンセリング学会）

〒162-0822 東京都新宿区下宮比町2-28 飯田橋ハイタウン1020号室

【2024年12月より移転】

新住所：〒102-0074 東京都千代田区九段南1-5-6 りそな九段ビル5階 KSフロア

e-mail: info@jacc.or.jp HP: <https://jacc.or.jp/>



一般財団法人 ACCN

みんなの「生きる」を キャリアでつなぐ。ACCN

ACCNは、国家資格キャリアコンサルタントの職能団体です



ACCNは会員の皆様と共に

職業人生の長期化の中で、多様な働き方に寄り添うために。

全ての方が自らキャリアを考え生きる社会を作るために。

それぞれの方の「生きる」をキャリアでつないで応援する団体でありたい。

ACCNは、国家資格キャリアコンサルタントの職能団体です。



入会のご案内

キャリアコンサルティング業務を安心して行うための「会員専用団体保険」から、活動・学びの場や各種情報のご提供まで、ACCNはキャリアコンサルタントの皆様の活動のサポートをいたします。詳しくはサイトをご覧ください。

<https://www.allccn.org/>



一般財団法人 ACCN

エーシーシーエヌ

〒105-0021

東京都港区東新橋2-11-7 住友東新橋ビル5号館9階

TEL. 03-5402-3392 (平日10:00~18:00)

support@allccn.org

